

令和7年度第2回豊明市地域公共交通会議 次第
(豊明市地域公共交通活性化協議会合同会議)

日時 令和7年12月8日(月)
午前9時40分から

場所 豊明市役所新館1階 会議室4・5

1 会長あいさつ

2 議 題

【協議事項】

- (1) 地域公共交通調査事業におけるニーズ調査(各種アンケート)速報について(資料1)
- (2) 公共交通地域懇談会について(資料2)
- (3) 大脇地区におけるチョイソコ実証結果について(資料3)

【報告事項】

- (1) ひまわりバスデザインの市民投票結果について(資料4)
- (2) ひまわりバス停留所の移設について(資料5)

4 その他

各種ニーズ調査結果 概要

1. 調査種別と概要

(1) 市民アンケート調査 (p.2～)

項目	内容
調査対象	豊明市内在住の15歳以上の方から無作為に抽出した3,500人
調査方法	郵送配布、郵送・Web回収
調査時期	令和7年9月2日(火)発送 令和7年9月17日(水)回収締切
回収数・率	1,302票・37.2%

(2) ひまわりバス乗降調査 (p.15～)

項目	内容
調査対象	平休日各1日の全路線・全利用者
調査方法	乗車時に手渡し配布、降車時に手渡し回収
調査時期	令和7年9月26日(金)、28日(日)実施
配布数	9月26日(金):569票、28日(日)324票

(3) バス利用者アンケート調査 (p.22～)

項目	内容			
調査対象	ひまわりバス：平休日各1日の全路線・全利用者 名鉄バス：平休日各1日の主要バス停(市内5ヶ所)の全利用者			
調査方法	手渡し配布、郵送・Web回収			
調査時期	令和7年9月26日(金)、28日(日)実施 令和7年10月14日(火)回収締切			
回収数・率	路線	配布数	回収数	回収率
	ひまわりバス	390	196	50.3%
	名鉄バス	1,540	420	27.3%
	合計(路線無回答を含む)	1,930	625	32.4%

(4) チョイソコとよあけ登録者アンケート調査 (p.29～)

項目	内容
調査対象	チョイソコとよあけ登録者全員(郵送数:2,558票)
調査方法	郵送配布、郵送・Web回収
調査時期	令和7年9月下旬発送(『チョイソコ通信』に同封) 令和7年10月14日(火)回収締切
回収数・率	998票・39.0%

(5) 高齢者向けインタビュー調査 (p.36～)

場所	日時	参加者数
すずしろカフェ・曹源寺(観音堂)	9月23日(火祝)午後1時半～2時半	23人
グリーンケアカフェ・つくし (古民家カフェ和み亭)	9月27日(土)午後2時～4時	15人

2. 調査結果（抜粋）

■数値の取扱いについて

比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入した数値で表示しているため、合計が100%を前後する場合があります。また、各設問の結果のコメントについては、小数点以下1位を四捨五入した整数値で表記しています。

また、集計は「無回答」を除く構成比を算出しており、各設問に対する回答者の母数は“n=〇”として表記しています。

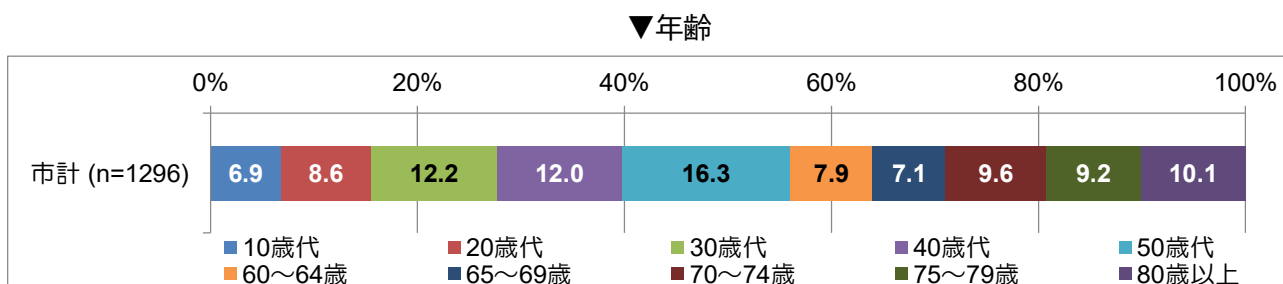
■コメントについて

「■」のコメントは、回答者全体の様子について示しており、「□」のコメントは、地域や路線別の様子について示しています。

（1）市民アンケート調査

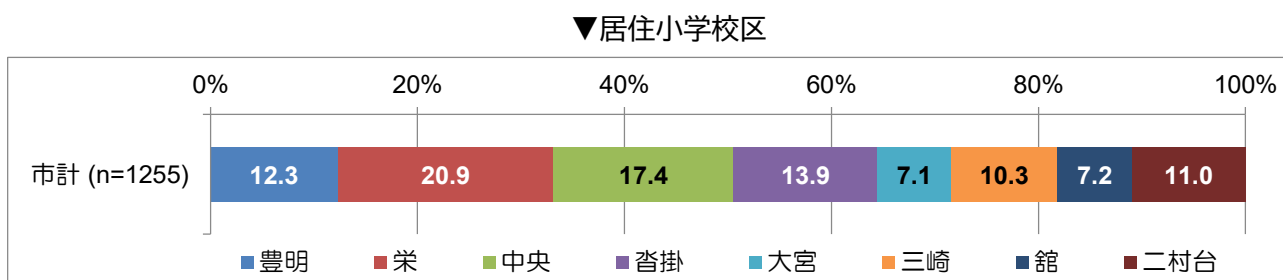
①回答者の年齢

■「50歳代」の割合が約16%で最も高い。次いで「30歳代」の割合が高い。



②回答者の居住地区（小学校区）

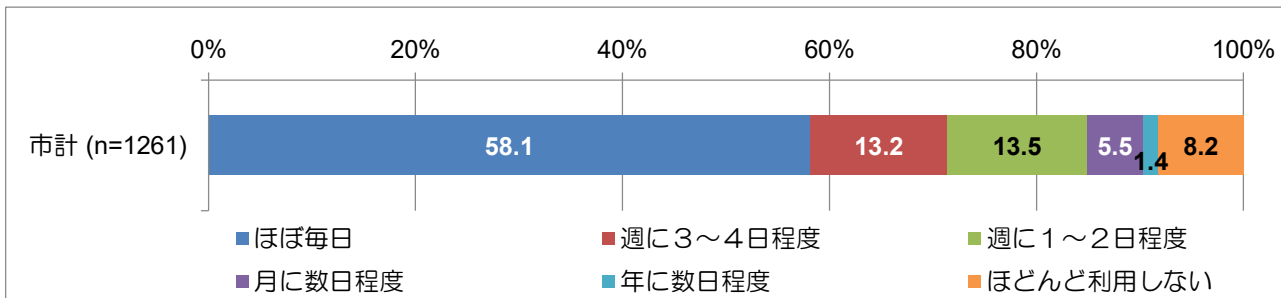
■「栄」地区の割合が約21%で最も高い。次いで「中央」地区の割合が高い。



③自動車の利用頻度

■「ほぼ毎日」の割合が約58%で最も高い。次いで、「週に1～2日程度」の割合が高い。
 ■「ほとんど利用しない」の割合は約8%となっている。

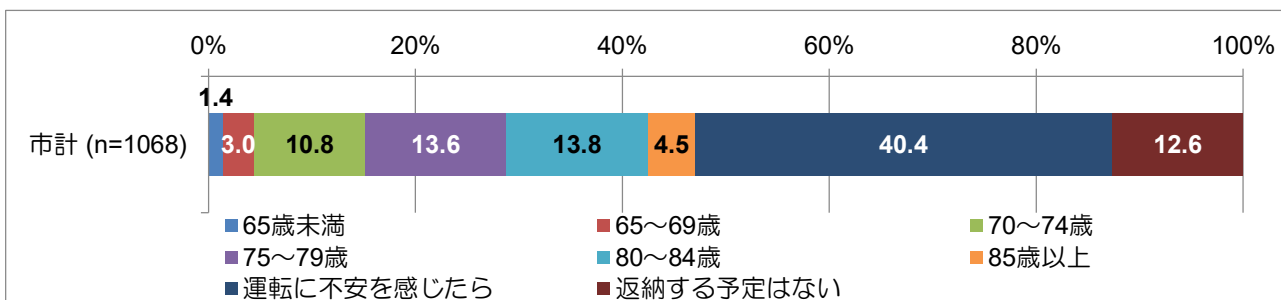
▼自動車の利用頻度（家族等の送迎も含む。）



④免許を返納した、または返納しようと思う年齢（免許の保有経験がある人のみ）

■「運転に不安を感じたら」の割合が約40%で最も高い。次いで「80～84歳」の割合が高い。
 ■85歳未満で返納の意向がある割合は約43%となっている。

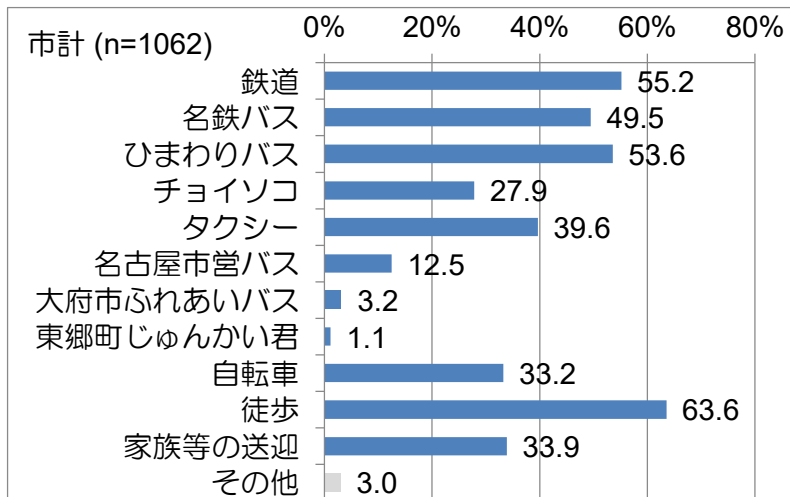
▼免許を返納した、または返納しようと思う年齢



⑤免許返納後に利用している、または利用しようと思う移動手段（免許の保有経験がある方のみ）

■「徒歩」の割合が約64%で最も高い。次いで「鉄道」「ひまわりバス」の順となっている。

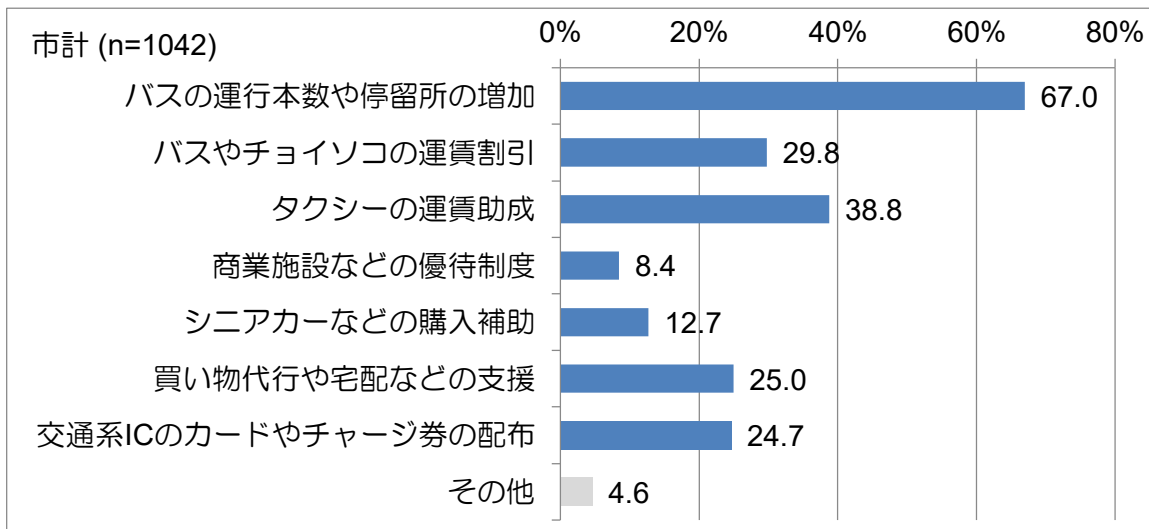
▼免許返納後に利用している、または利用しようと思う移動手段（複数回答）



⑥免許を返納してもよいと思う制度・仕組み（免許の保有経験がある方のみ）

■「バスの運行本数や停留所の増加」が67%で最も高くなっている。次いで「タクシーの運賃助成」「バスやチョイソコの運賃割引」の順となっている。

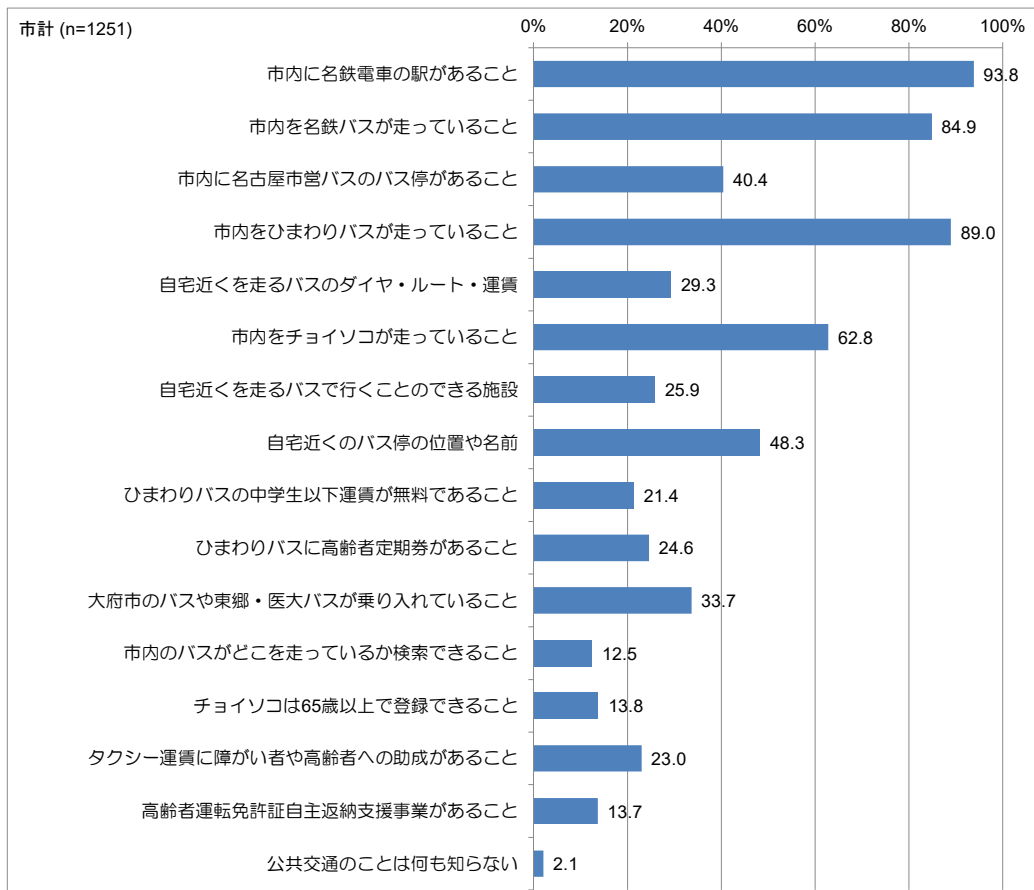
▼免許を返納してもよいと思う制度・仕組み（複数回答）



⑦公共交通について知っていること

■「市内に名鉄電車の駅があること」の割合（認知度）が約94%と最も高い。次いで「市内をひまわりバスが走っていること」の割合（認知度）が高い。

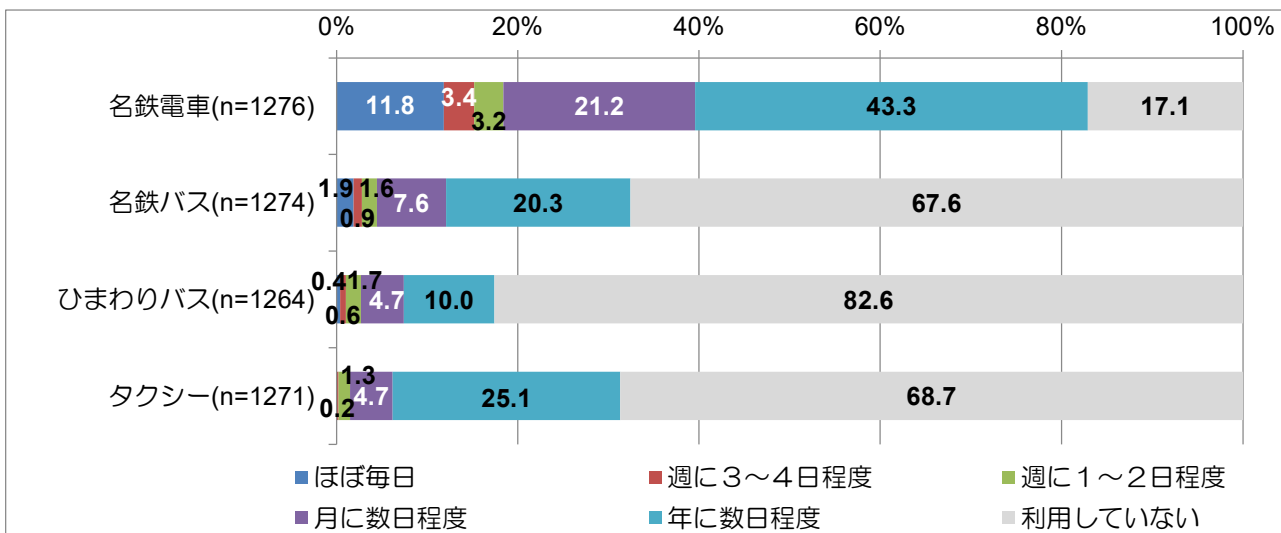
▼公共交通について知っていること（複数回答）



⑧各公共交通の利用頻度（この1年間）

■名鉄電車を「年に数日程度」以上利用している人の割合は約 83%となっている。
 ■名鉄バスを「年に数日程度」以上利用している人の割合は約 32%となっている。
 ■ひまわりバスを「年に数日程度」以上利用している人の割合は約 17%となっている。
 ■タクシーを「年に数日程度」以上利用している人の割合は約 31%となっている。
 ■頻度はどの交通機関も「年に数日程度」の割合が最も高い。

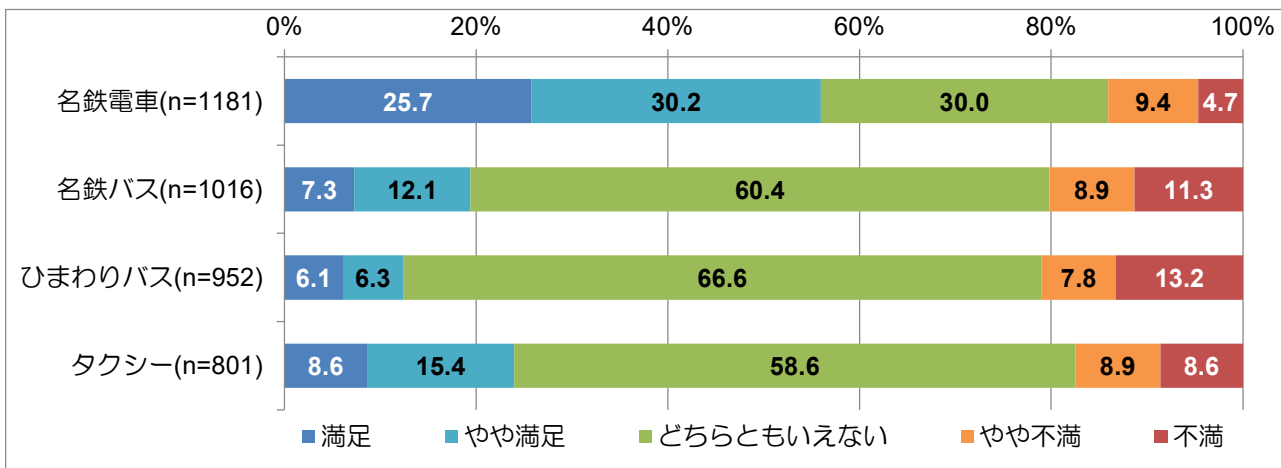
▼各公共交通の利用頻度（この1年間）



⑨各公共交通の満足度

■名鉄電車の満足度（「満足」＋「やや満足」）は約 56%、不満割合（「不満」＋「やや不満」）は約 14%となっている。
 ■名鉄バスの満足度は約 19%、不満割合は約 20%となっている。
 ■ひまわりバスの満足度は約 12%、不満割合は 21%となっている。
 ■タクシーの満足度は 24%、不満割合は約 18%となっている。

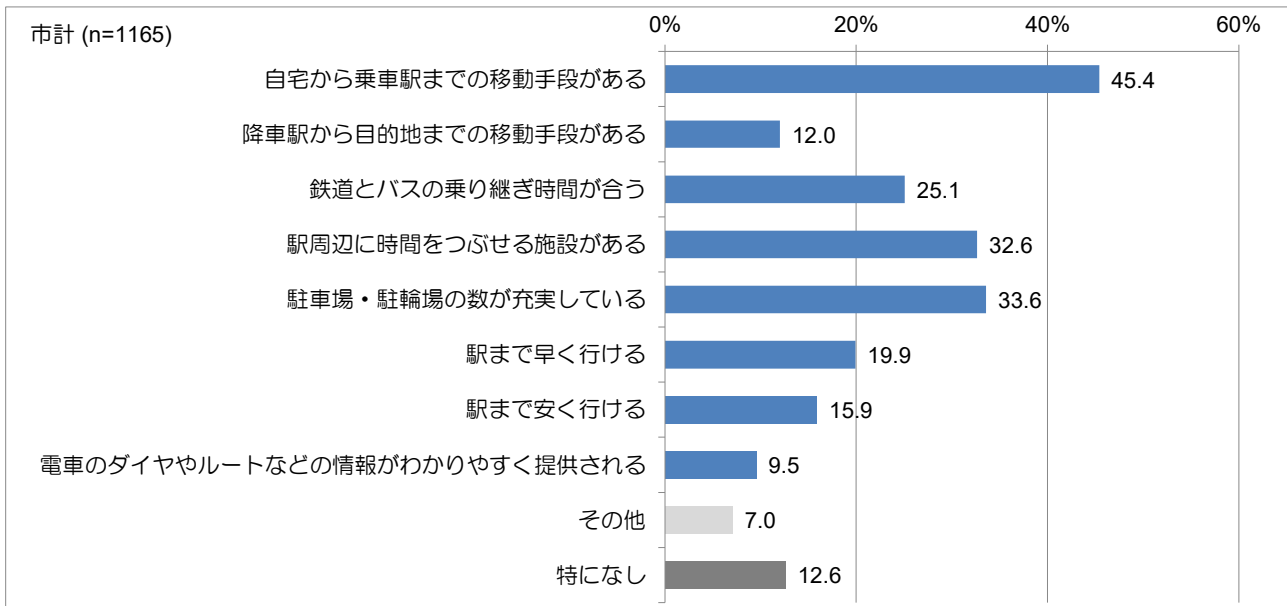
▼各公共交通の満足度



⑩各公共交通がもっと便利になるための条件

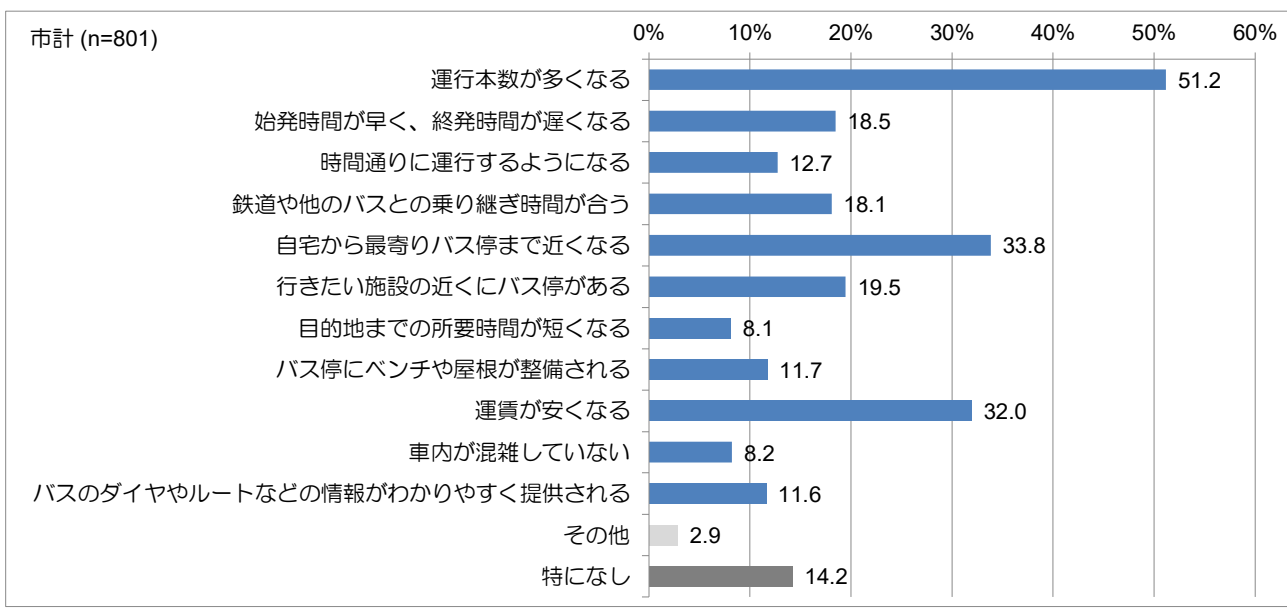
■名鉄電車がもっと便利になるための条件は「自宅から乗車駅までの移動手段がある」が約45%で最も高い。次いで「駐車場・駐輪場の数が充実している」「駅周辺に時間をつぶせる施設がある」の順となっている。

▼名鉄電車がもっと便利になるための条件



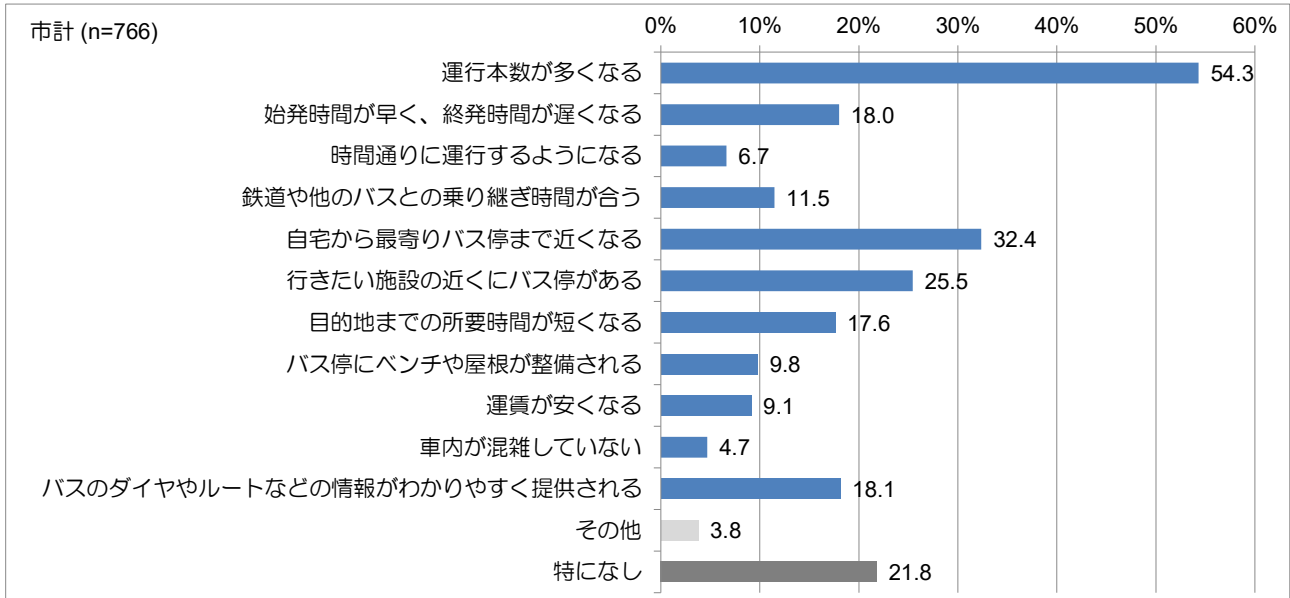
■名鉄バスがもっと便利になるための条件は「運行本数が多くなる」の割合が約51%で最も高い。次いで「自宅から最寄りバス停まで近くなる」「運賃が安くなる」の順となっている。

▼名鉄バスがもっと便利になるための条件



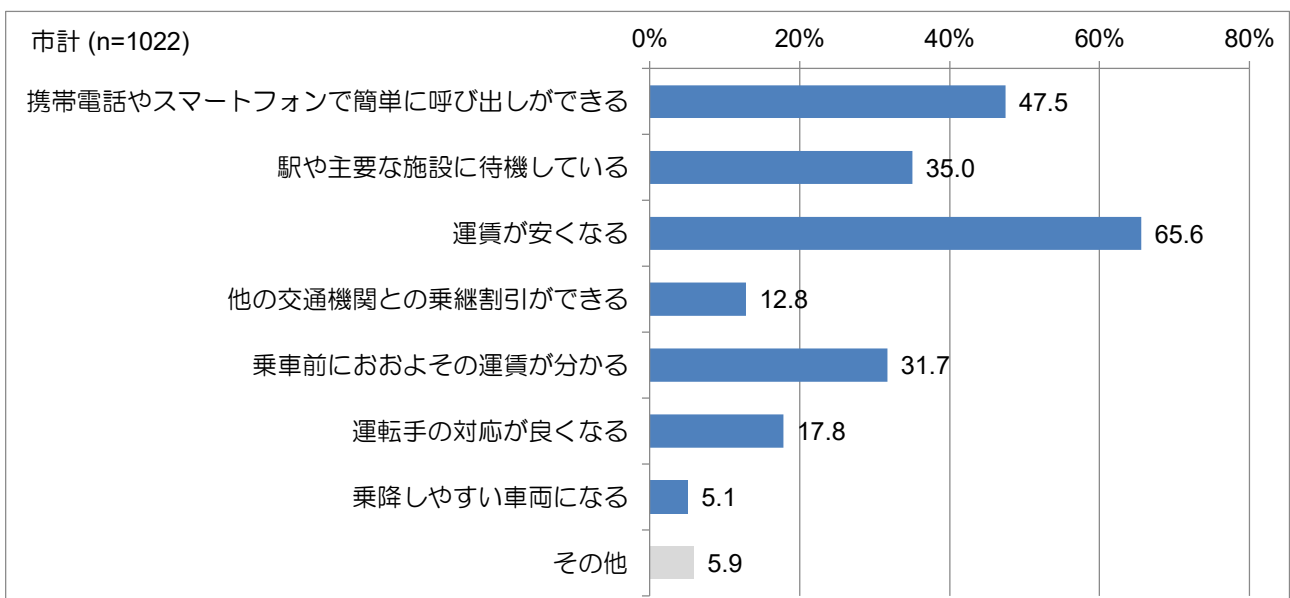
■ひまわりバスがもっと便利になるための条件は「運行本数が増える」の割合が約 54%で最も高い。次いで「自宅から最寄りバス停まで近くなる」「行きたい施設の近くにバス停がある」の順となっている。

▼ひまわりバスがもっと便利になるための条件



■タクシーがもっと便利になるための条件は「運賃が安くなる」の割合が約 66%で最も高い。次いで「携帯電話やスマートフォンで簡単に呼び出しができる」「駅や主要な施設に待機している」の順となっている。

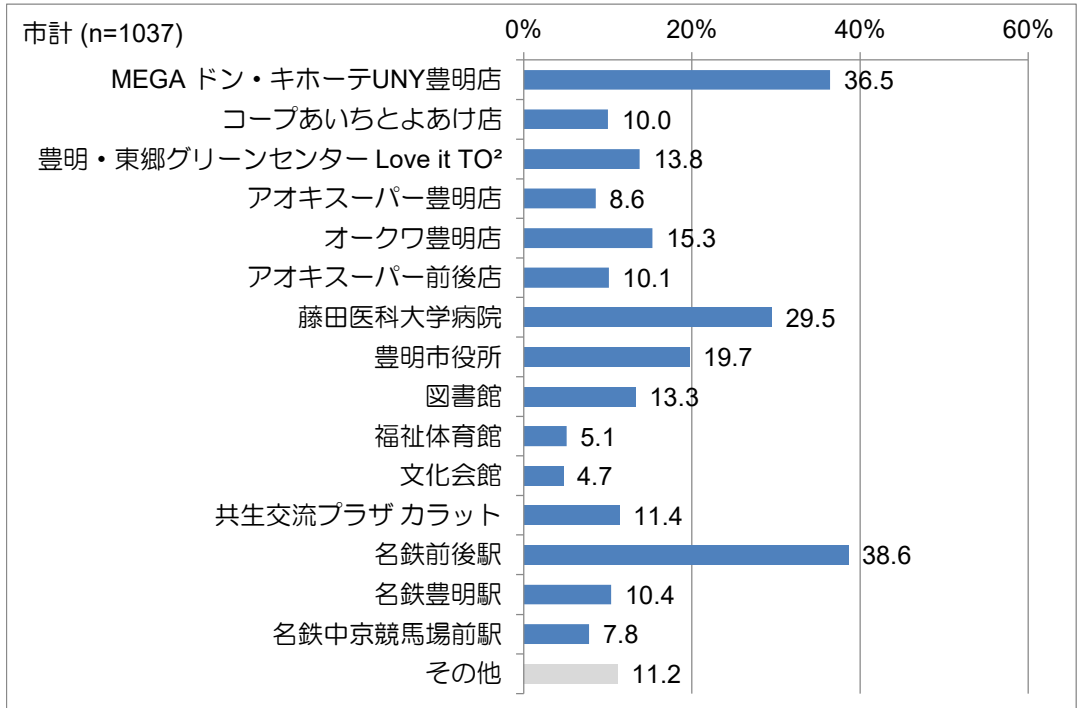
▼タクシーがもっと便利になるための条件



⑪バスで行きたい施設

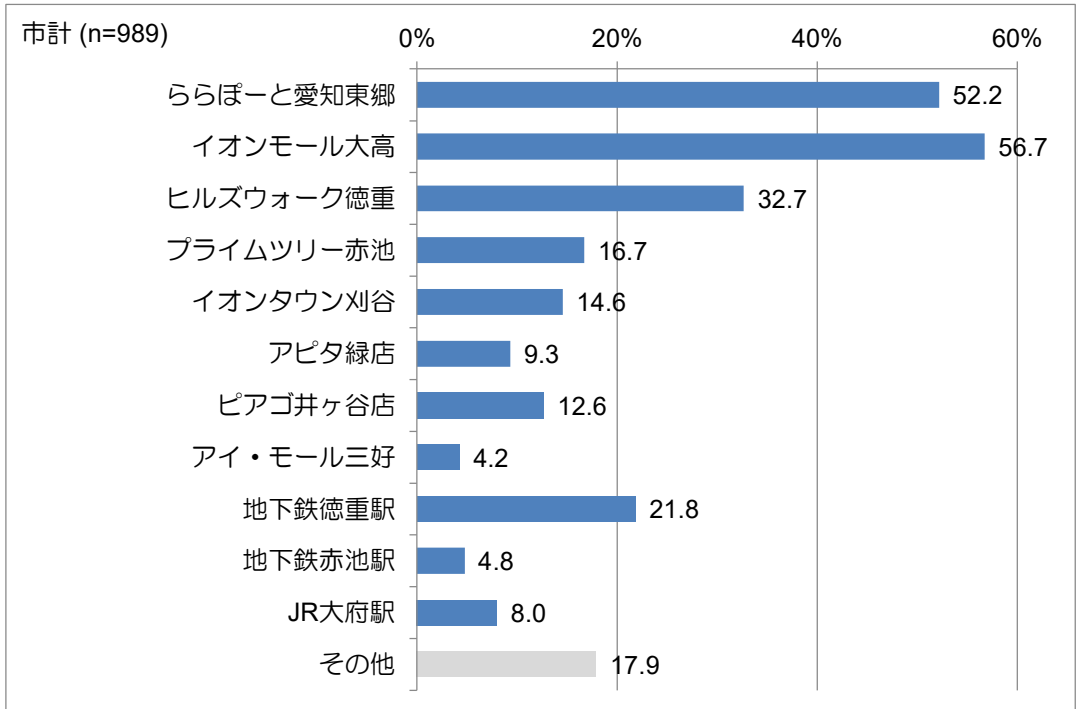
■豊明市内のバスで行きたい施設は、「名鉄前後駅」の割合が約 39%と最も高い。次いで、「MEGA ドン・キホーテ UNY 豊明店」「藤田医科大学病院」の順となっている。

▼バスで行きたい豊明市内の施設（複数回答(3つまで)）



■豊明市外のバスで行きたい施設は、「イオンモール大高」の割合が約 57%と最も高い。次いで、「ららぽーと愛知東郷」「ヒルズウォーク徳重」の順となっている。

▼バスで行きたい豊明市外の施設（複数回答(3つまで)）

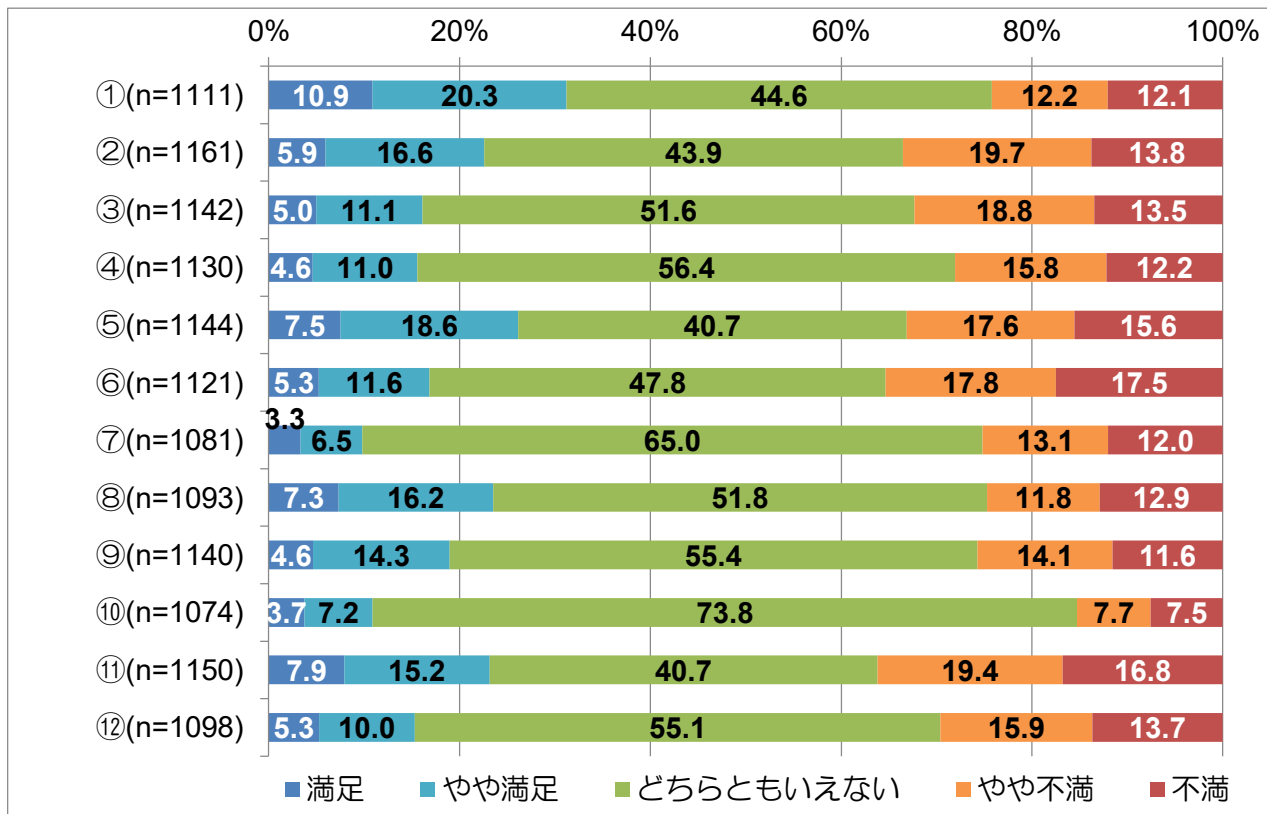


⑫公共交通の役割の満足度

■満足度は「①通勤・通学するための移動手段として利用できること」が約31%で最も高く、不満割合は「⑩車などを利用できない、利用しなくなった人のための移動手段として利用できること」が約36%で最も高い。

■「①通勤・通学するための移動手段として利用できること」以外の項目で、不満割合が満足度を上回っています。

▼公共交通の役割の満足度

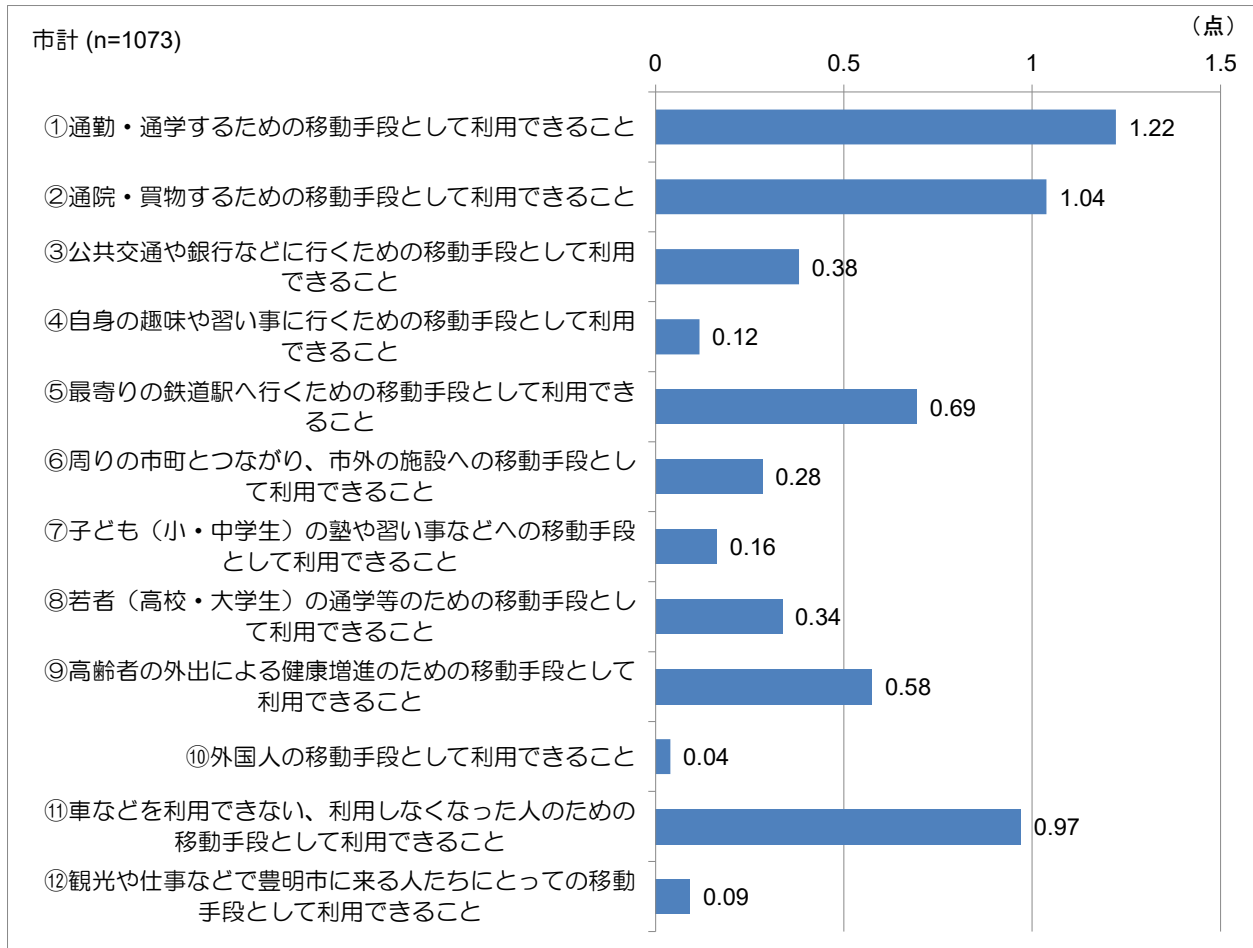


- ①通勤・通学するための移動手段として利用できること
- ②通院・買物するための移動手段として利用できること
- ③公共交通や銀行などに行くための移動手段として利用できること
- ④自身の趣味や習い事に行くための移動手段として利用できること
- ⑤最寄りの鉄道駅へ行くための移動手段として利用できること
- ⑥周りの市町とつながり、市外の施設への移動手段として利用できること
- ⑦子ども（小・中学生）の塾や習い事などへの移動手段として利用できること
- ⑧若者（高校・大学生）の通学等のための移動手段として利用できること
- ⑨高齢者の外出による健康増進のための移動手段として利用できること
- ⑩外国人の移動手段として利用できること
- ⑪車などを利用できない、利用しなくなった人のための移動手段として利用できること
- ⑫観光や仕事などで豊明市に来る人たちにとっての移動手段として利用できること

⑬公共交通の役割の重要度

■「通勤・通学するための移動手段として利用できること」が最も重要度が高い項目となっている。次いで「通院・買物するための移動手段として利用できること」「車などを利用できない、利用しなくなった人のための移動手段として利用できること」の順となっている。

▼公共交通の役割の重要度

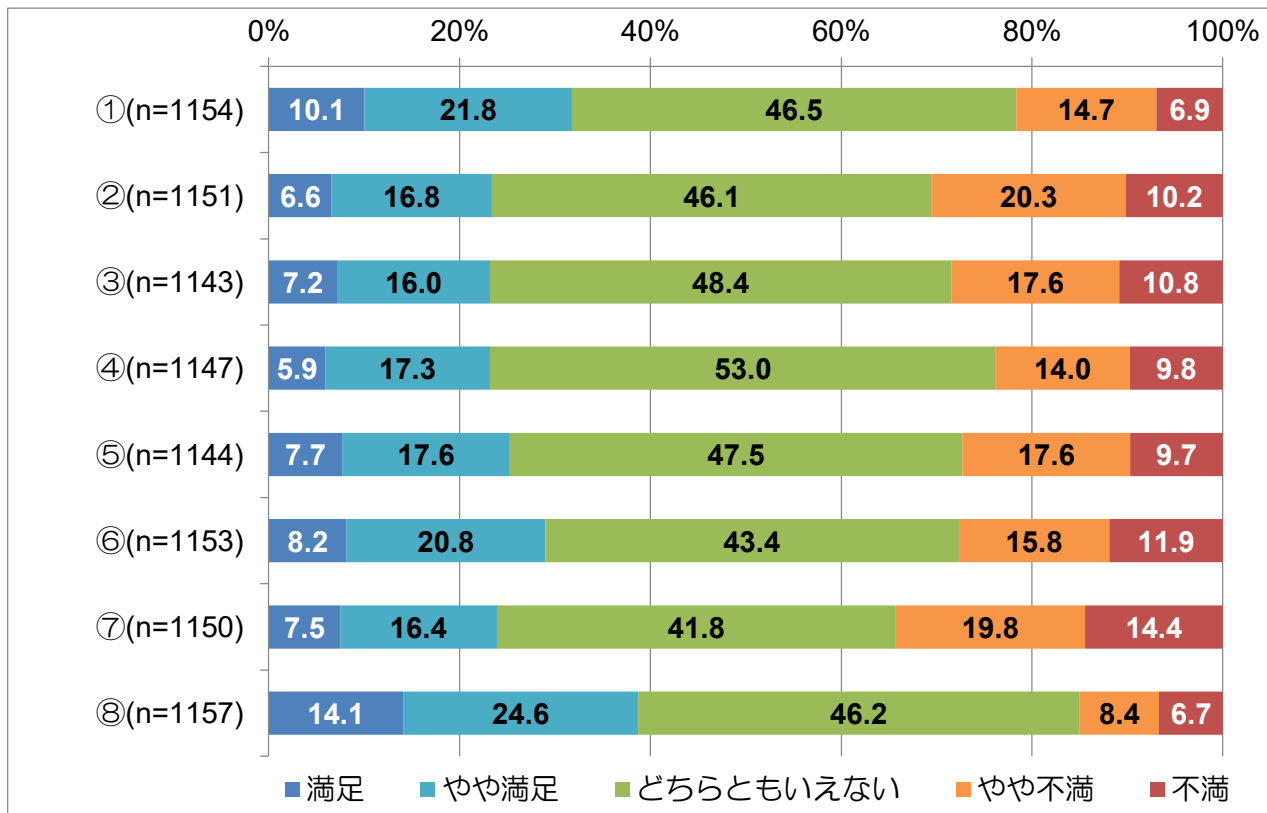


※最も重要な項目を1位として、2位、3位まで回答→1位=3点、2位=2点、3位=1点として各項目の合計点を算出し、回答者数で除すことで得点化した

⑭公共交通の仕組みの満足度

■満足度は「⑧いつも決まった時間に走っていること」が約39%で最も高く、
 不満割合は「⑦希望の時間に乗れること」が約34%で最も高い。

▼公共交通の役割の満足度

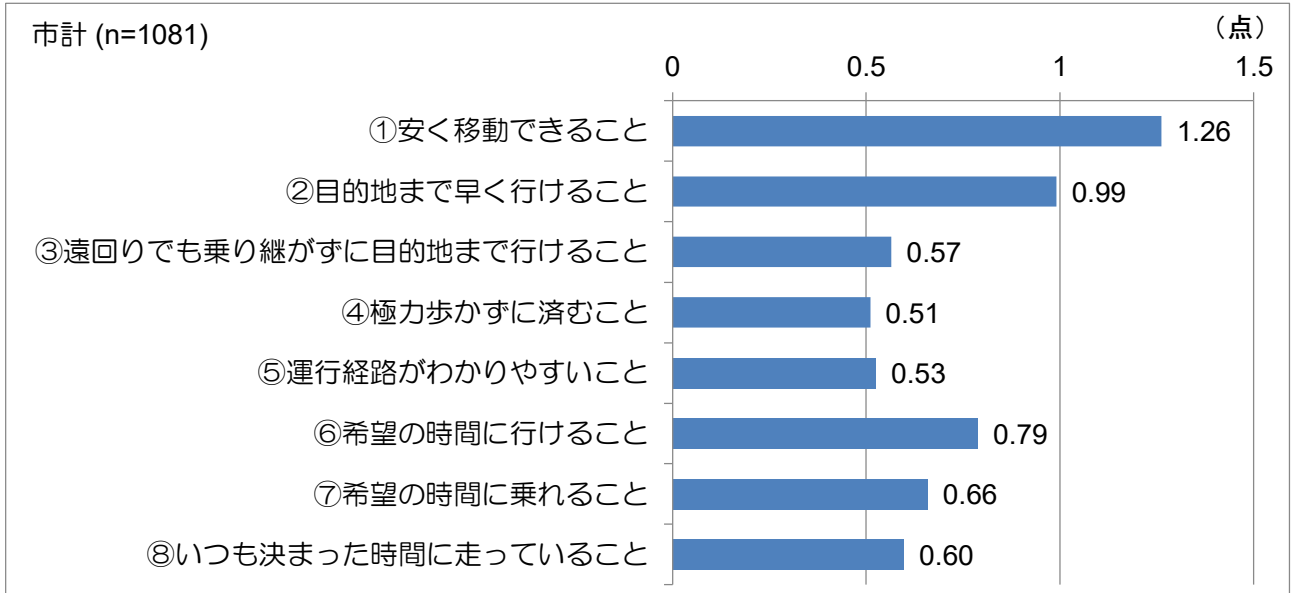


- ①安く移動できること
- ②目的地まで早く行けること
- ③遠回りでも乗り継がずに目的地まで行けること
- ④極力歩かずに済むこと
- ⑤運行経路がわかりやすいこと
- ⑥希望の時間に行けること
- ⑦希望の時間に乗れること
- ⑧いつも決まった時間に走っていること

⑮公共交通の仕組みの重要度

■「安く移動できること」が最も重要度が高い項目となっている。次いで「目的地まで早く行けること」「希望の時間に行けること」の順となっている。

▼公共交通の役割の重要度

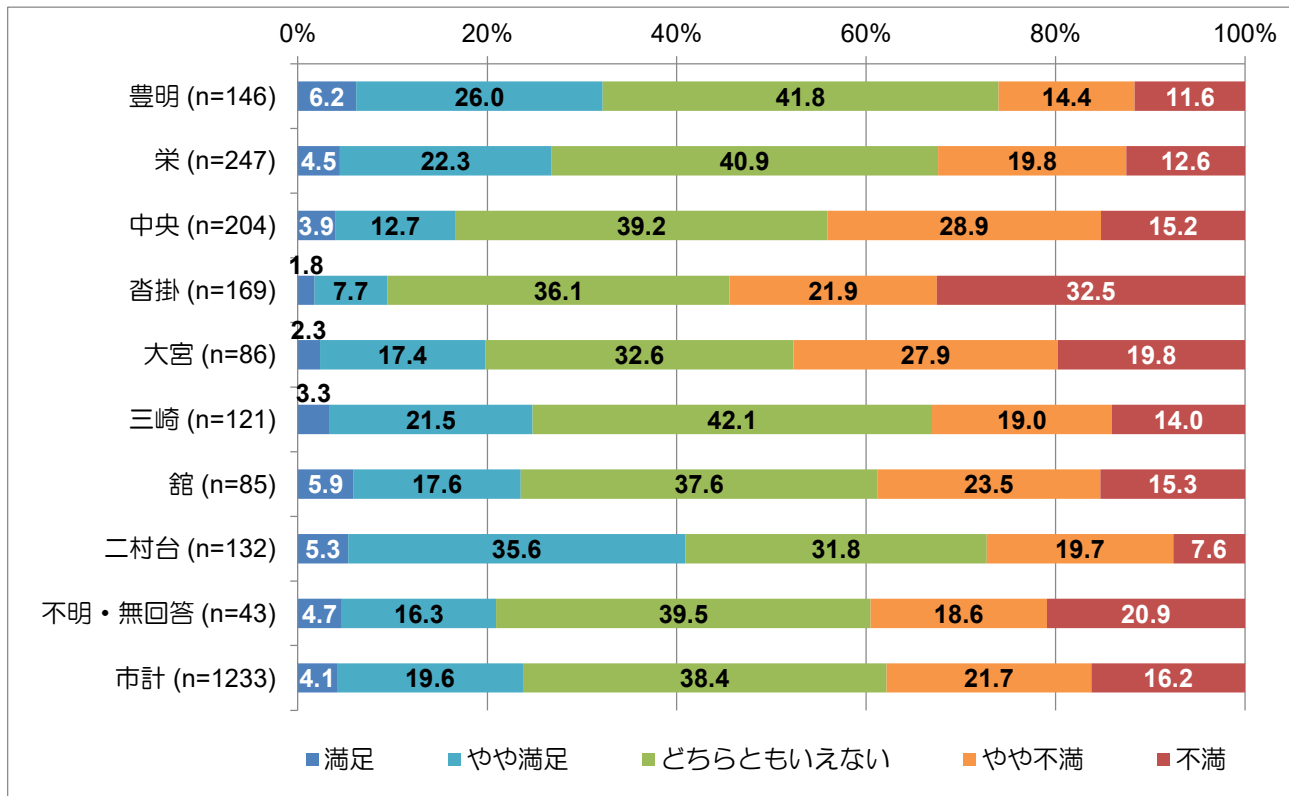


※最も重要な項目を1位として、2位、3位まで回答→1位=3点、2位=2点、3位=1点として各項目の合計点を算出し、回答者数で除すことで得点化した

⑩市内の公共交通全体の満足度

- 満足度は約 24%で、不満割合の約 38%を下回っている。
- 満足度が高い地域は、二村台・豊明・栄の順となっている。
- 不満割合が高い地域は、沓掛・大宮・中央の順となっている。

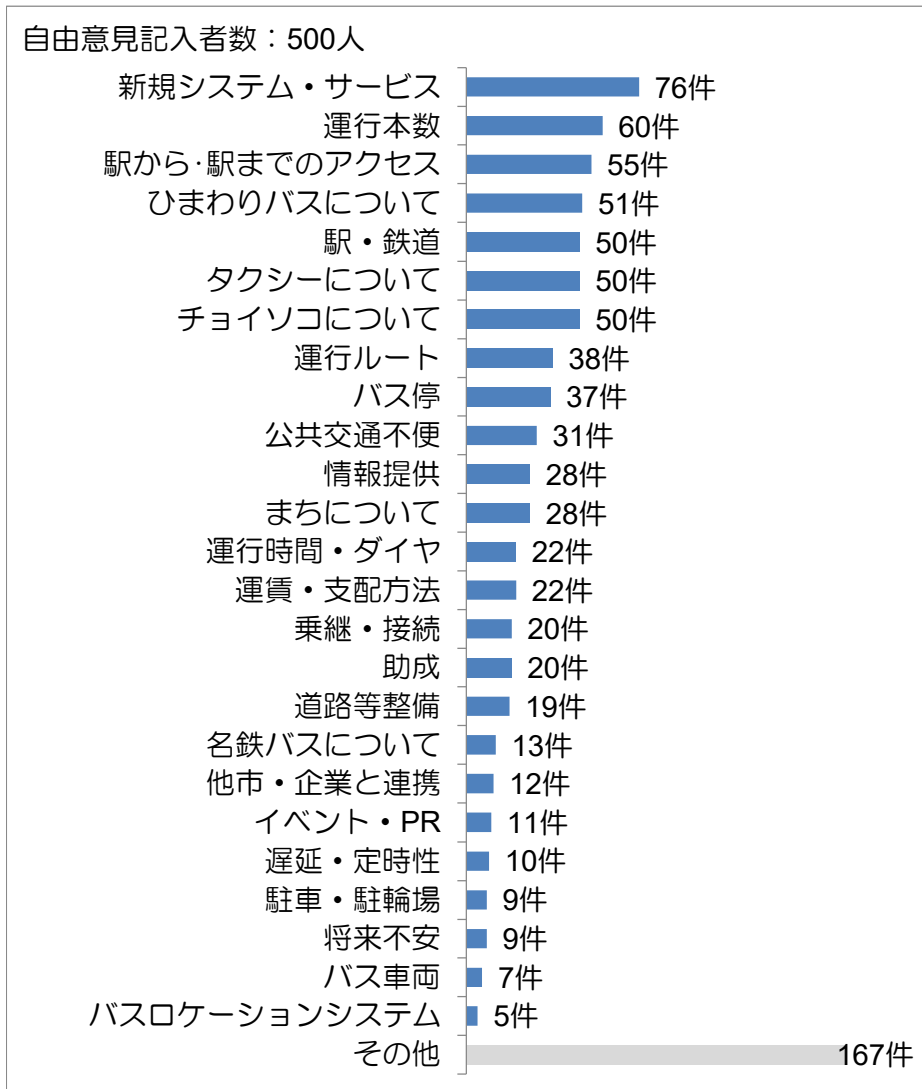
▼市内の公共交通全体の満足度



⑰公共交通の利便性を高めるアイデア（自由記述）

■「新規システム・サービス」に関する意見が最も多く、次いで「運行本数」に関する意見、「駅から・駅までのアクセス」に関する意見の順となっている。

▼自由意見の категорияと意見数

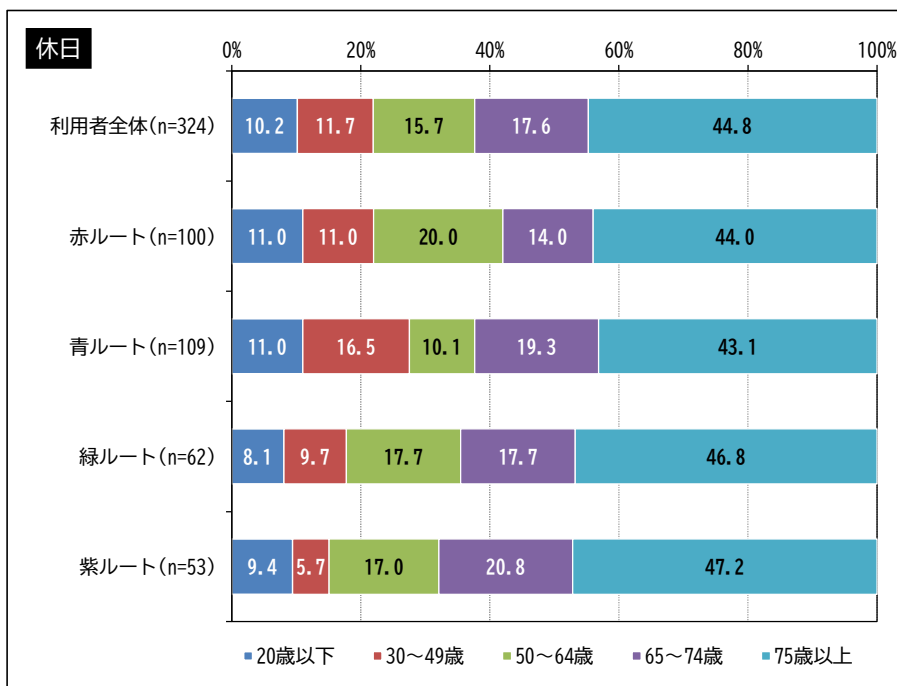
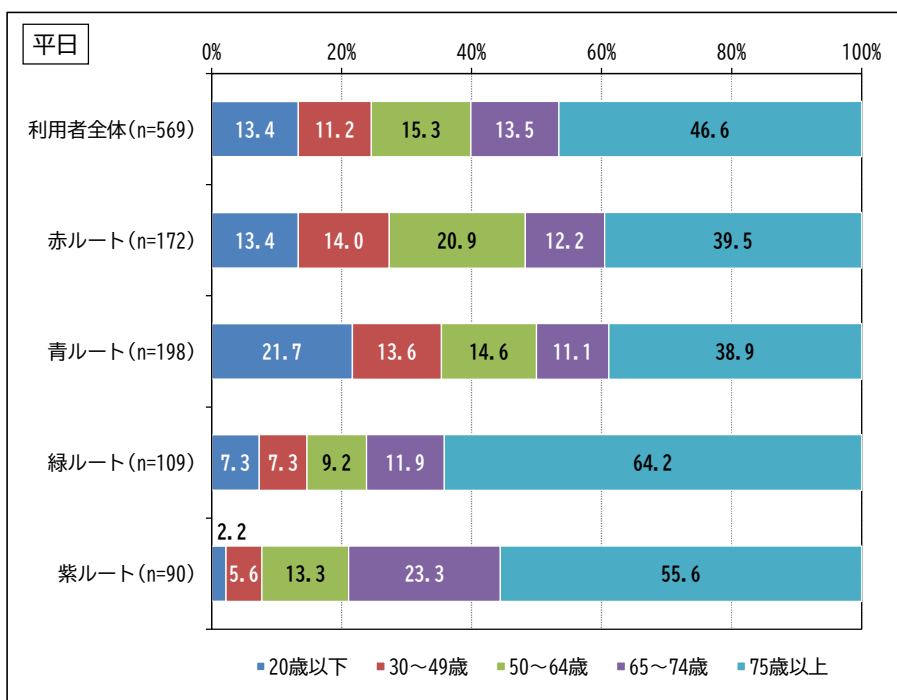


(2) ひまわりバス乗降調査

①利用者の年齢

■平日は「75歳以上」が約47%で最も高く、次いで「50～64歳」の順となっている。
 休日は「75歳以上」が約45%で最も高く、次いで「65～74歳」の順となっている。
 □平日においては、赤・青ルートより緑・紫ルートの方が「75歳以上」の割合が高くなっている。
 また、休日においてもその傾向が見られるが、平日ほど顕著ではない。

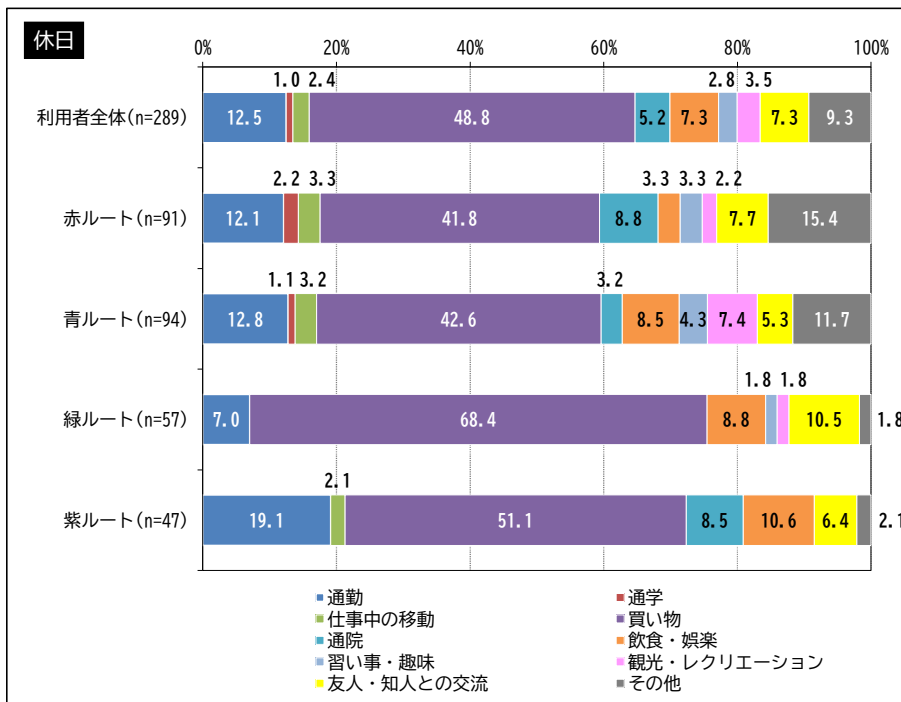
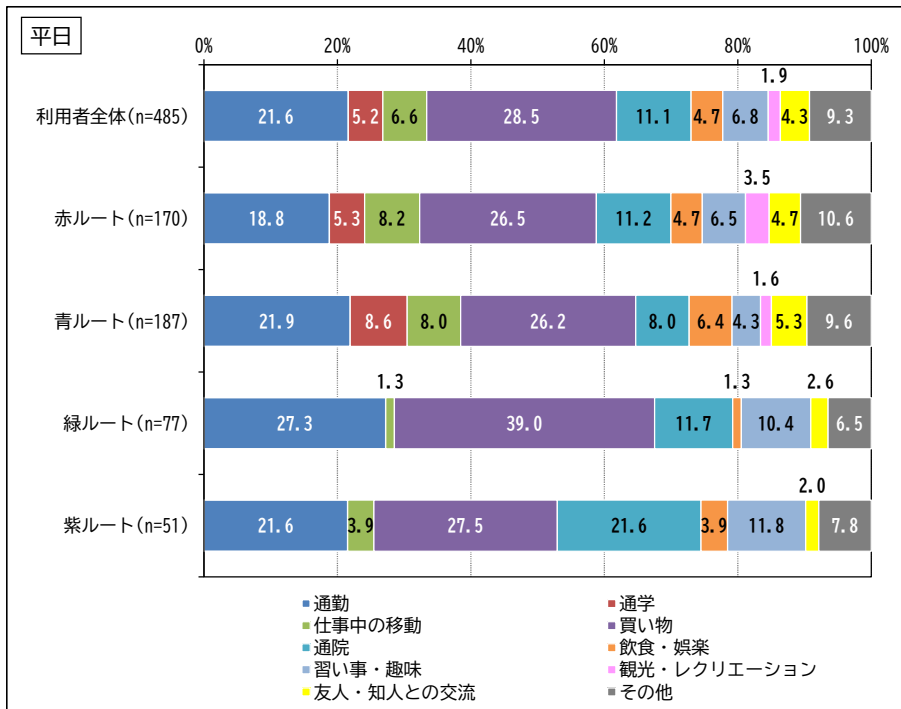
▼利用者の年齢



②バスの利用目的

■平日は「買い物」が約29%で最も高く、次いで「通勤」の順となっている。
 休日についても「買い物」が約49%で最も高く、次いで「通勤」の順となっている。

▼バスの利用目的



③乗継利用

【乗車前】

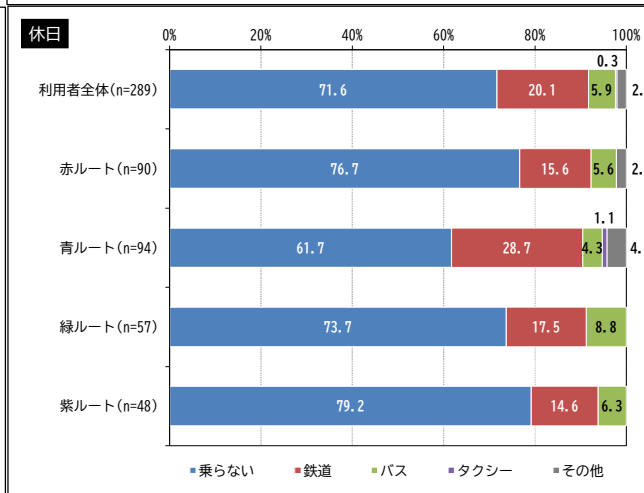
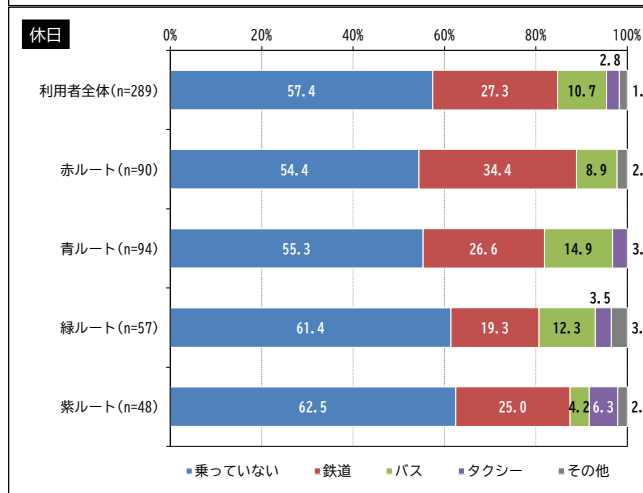
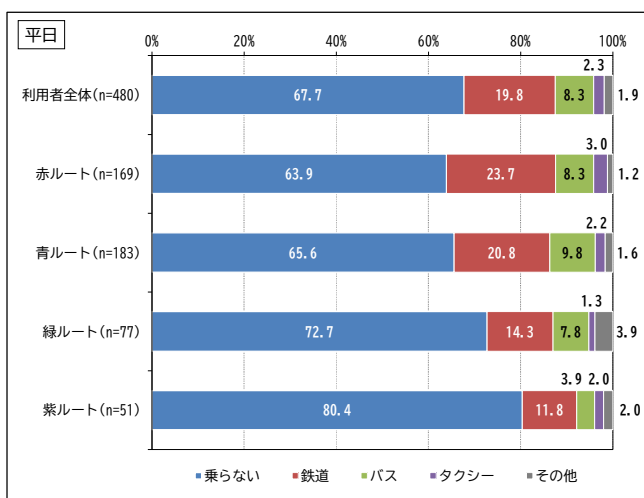
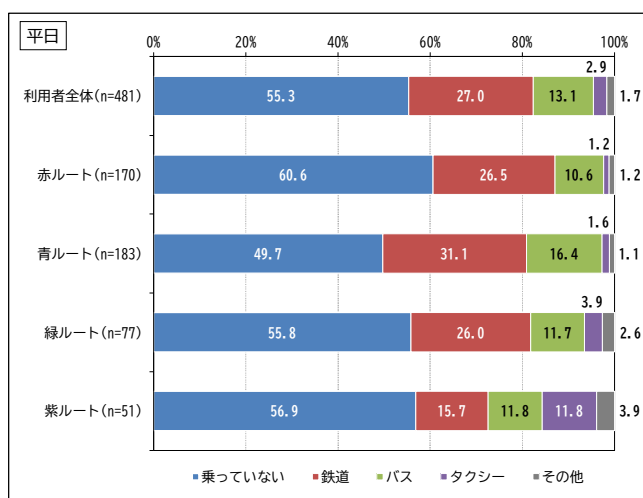
- 平日は「乗っていない」が約55%で最も高く、次いで「鉄道」の順に多い。
休日についても「乗っていない」が約57%で最も高く、次いで「鉄道」の順に多い。
- 乗り継いで利用している割合は平日で約45%、休日で約43%となっている。
- 青ルートでは、他のルートと比較して「鉄道」や「バス」から乗り継いだ利用者が多い。

【降車後】

- 平日は「乗らない」が約68%で最も高く、次いで「鉄道」の順に多い。
休日についても「乗らない」が約72%で最も高く、次いで「鉄道」の順に多い。
- 降車後に乗り継ぐ割合は平日で約32%、休日で約28%となっている。

▼バス乗車前に乗っていた公共交通機関

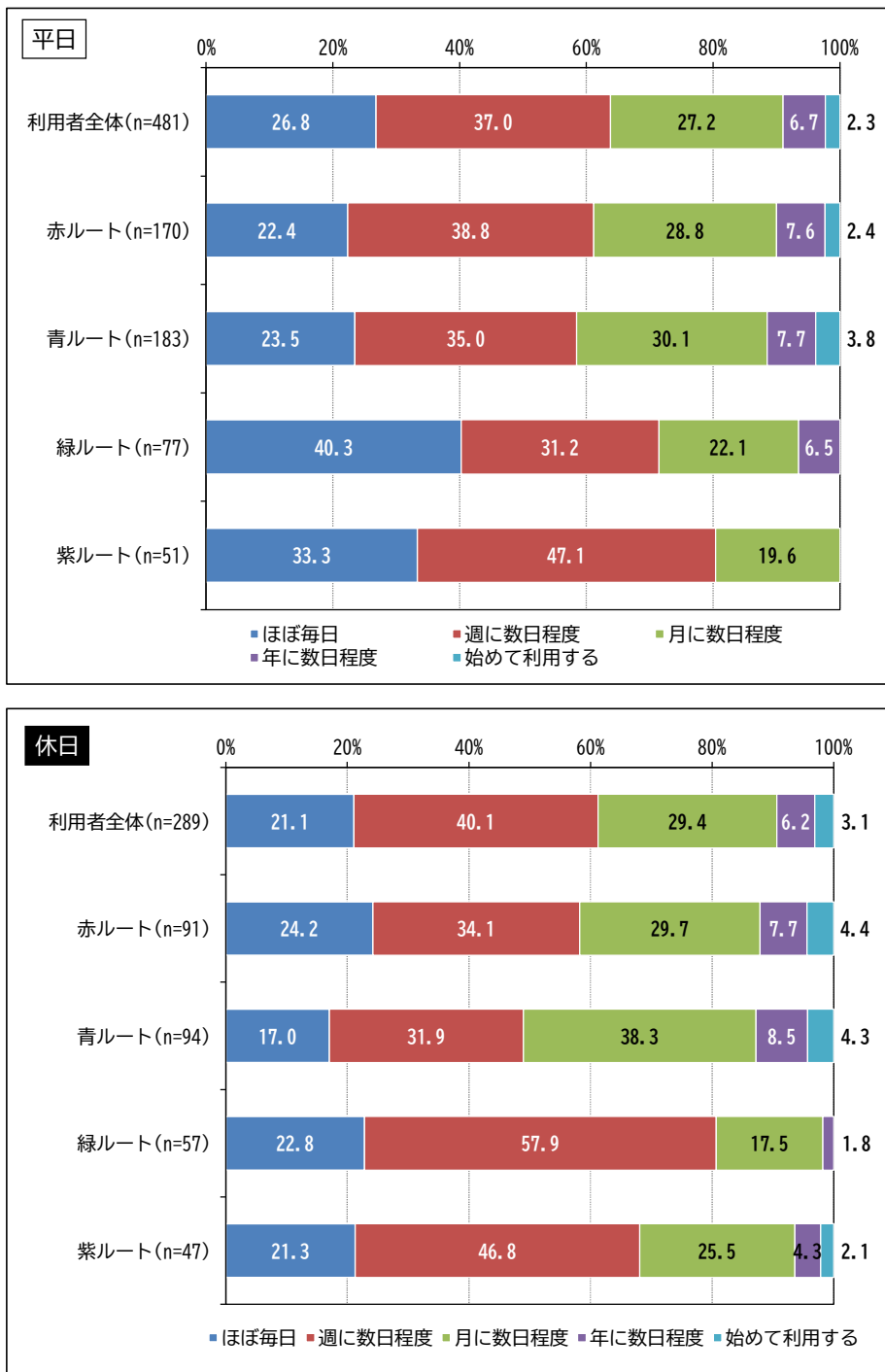
▼バス降車後に乗る公共交通機関



④バスの利用頻度

■平日は「週に数日程度」が37%で最も高く、次いで「月に数日程度」の順となっている。
 休日についても「週に数日程度」が約40%で最も高く、次いで「月に数日程度」の順となっている。
 □緑ルートにおいて「ほぼ毎日」と回答した割合が他のルートと比較して高くなっている。

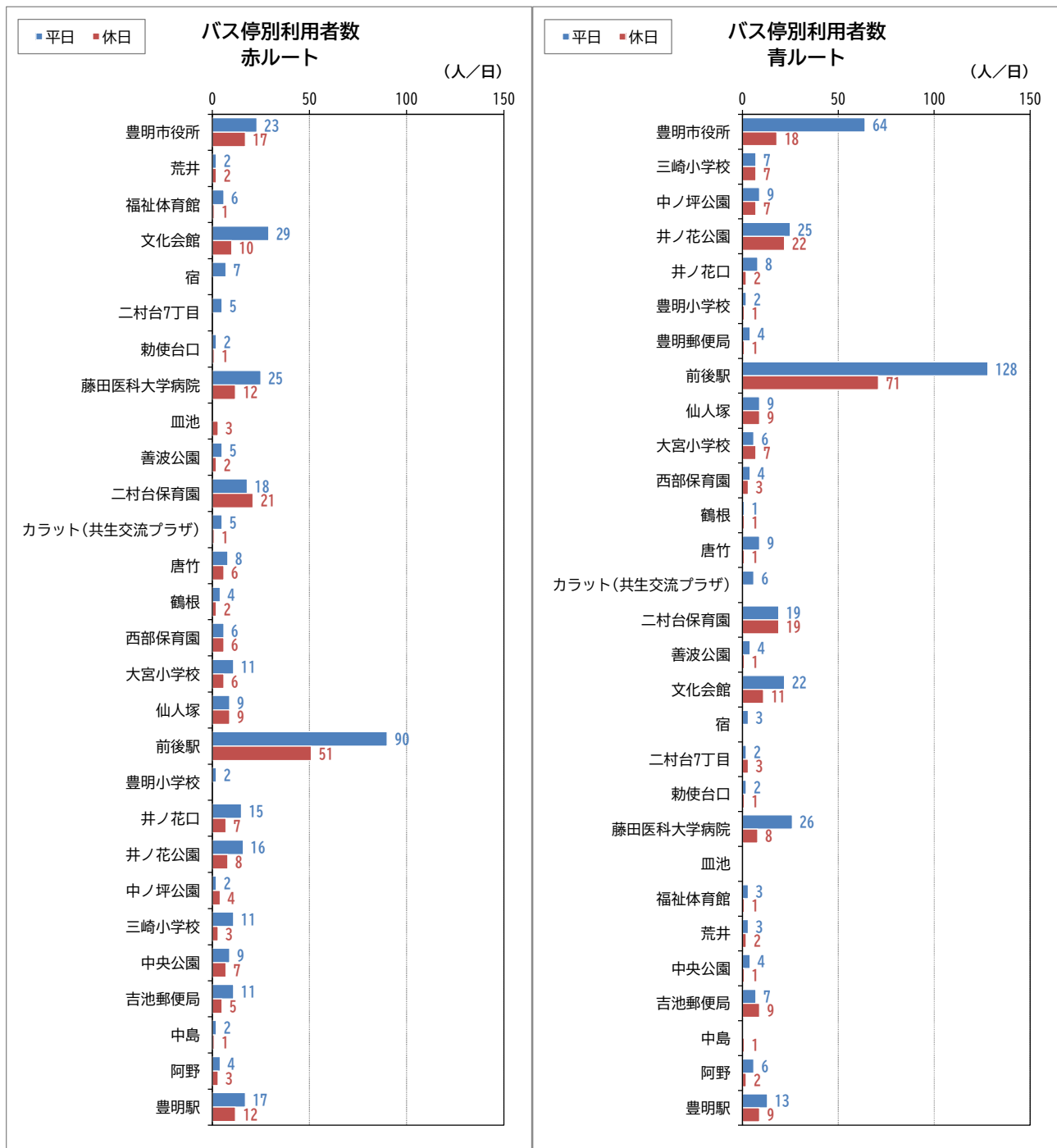
▼バスの利用頻度



⑤バス停別利用者数

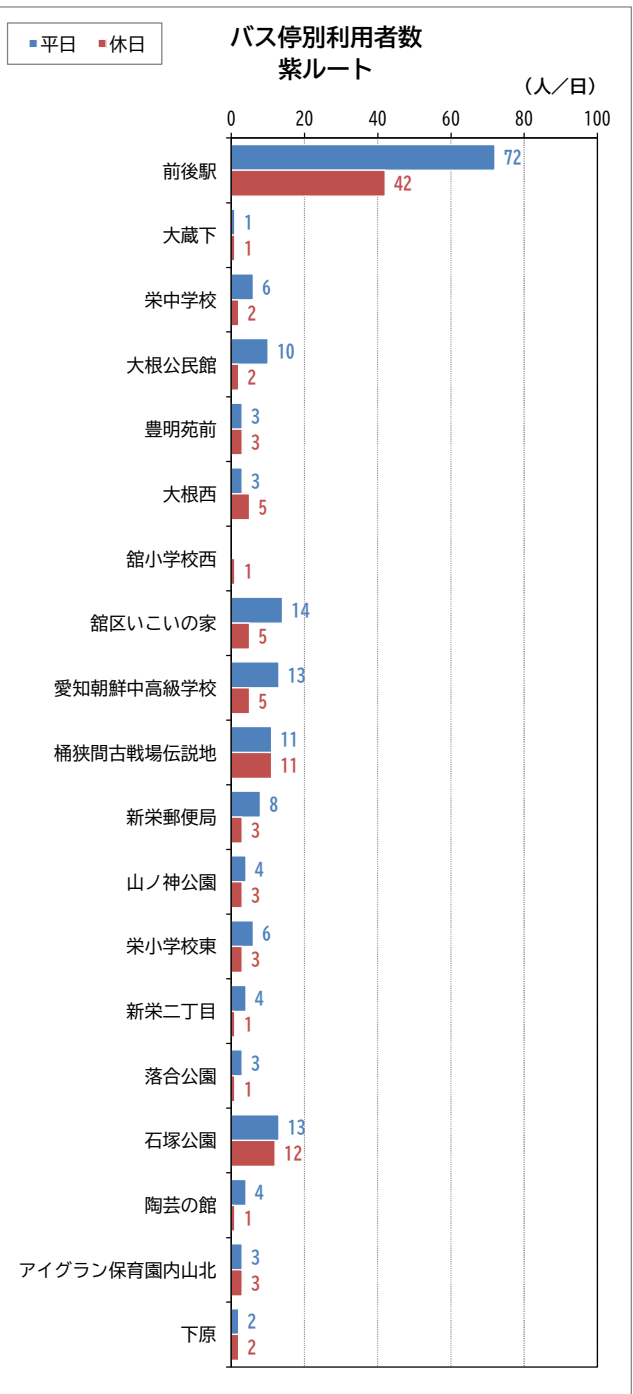
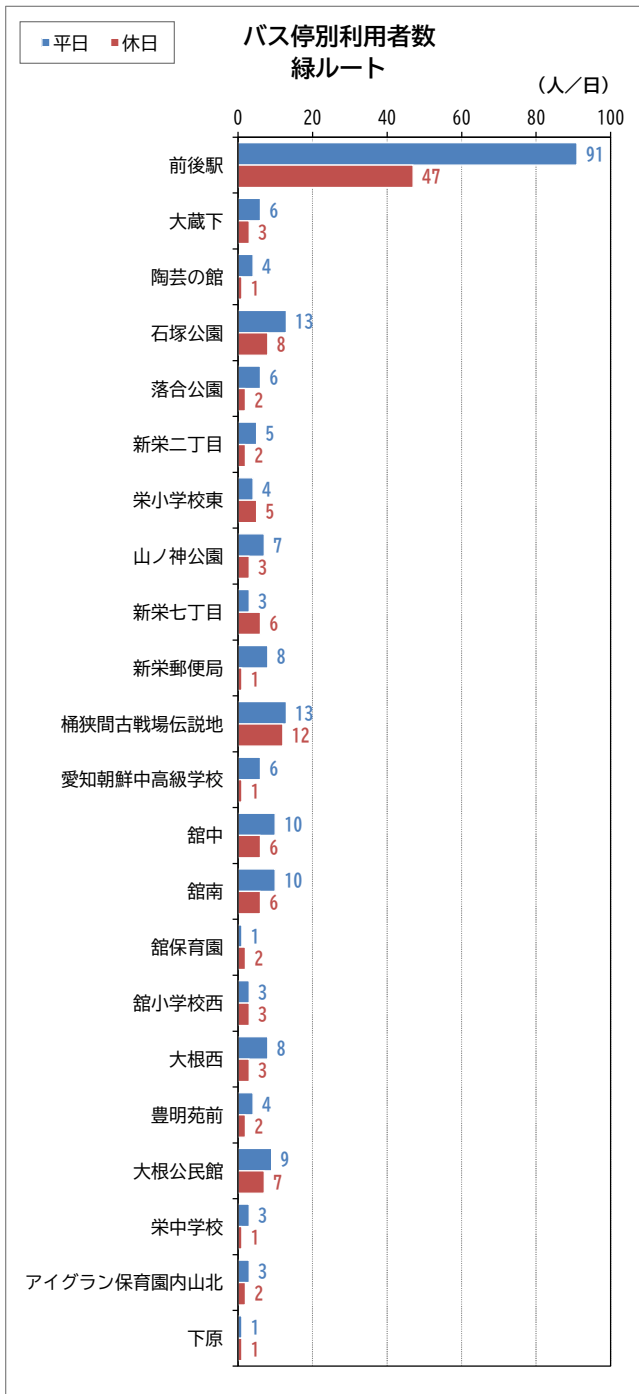
■赤ルート・青ルートともに「前後駅」が最も利用されており、次いで「豊明市役所」「文化会館」「井ノ花公園」「藤田医科大学病院」「二村台保育園」といったバス停の利用者が多い。

▼バス停別利用者数（赤ルート・青ルート）



■緑ルート・紫ルートともに「前後駅」が最も利用されており、次いで「桶狭間古戦場伝説地」「石塚公園」「館区いこいの家」「愛知朝鮮中高級学校」といったバス停の利用者が多い。

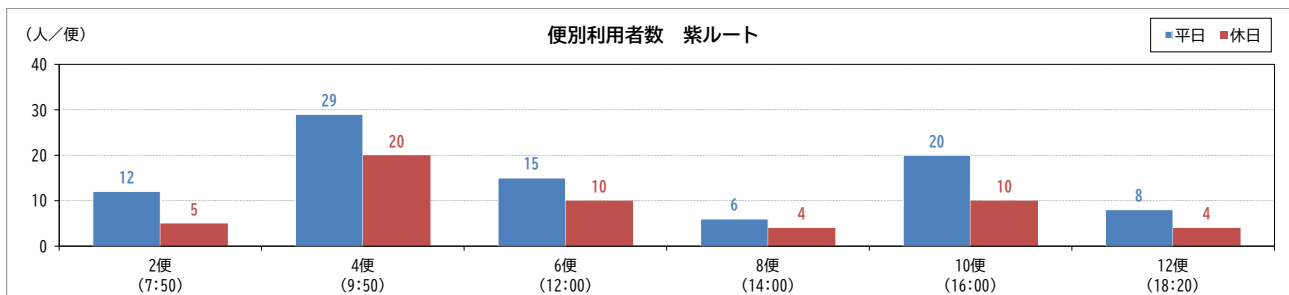
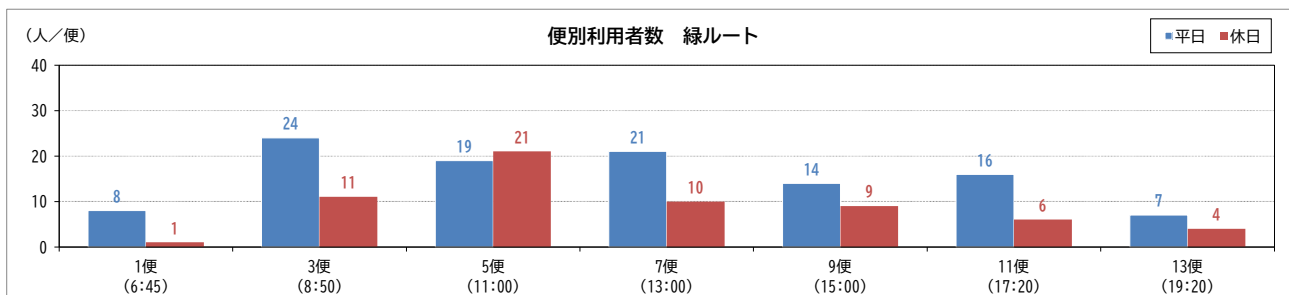
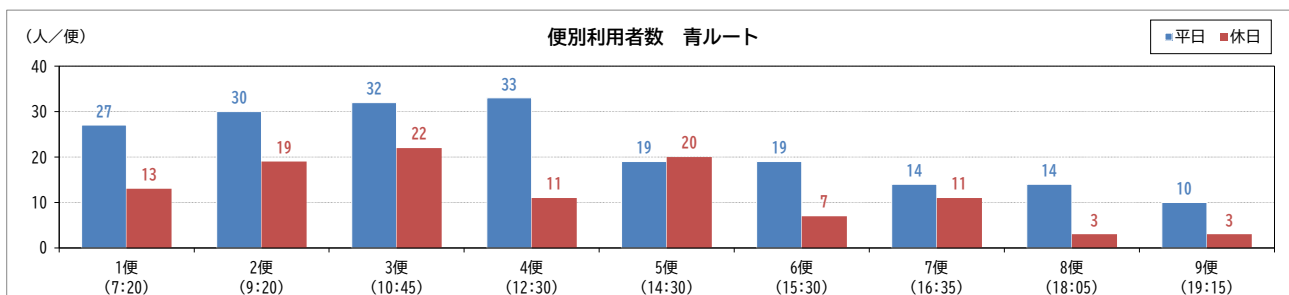
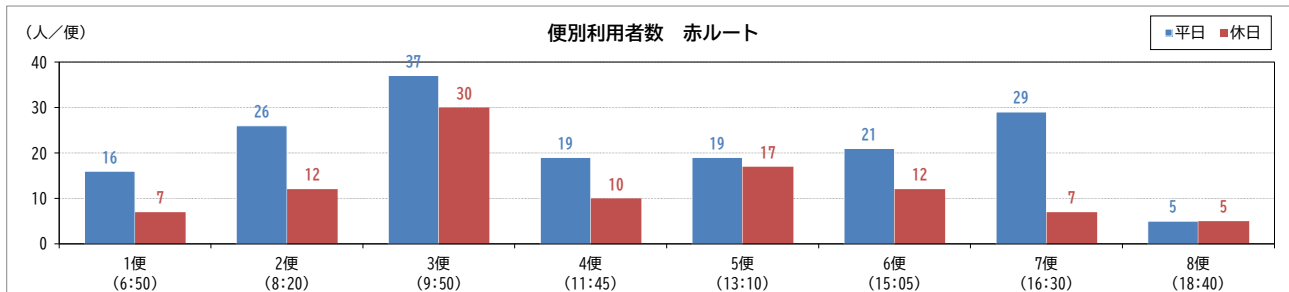
▼バス停別利用者数（緑ルート・紫ルート）



⑥便別利用者数

■全体として、利用者数の多い便は午前中に集まっている傾向にある。
 □赤ルート・紫ルートでは、平日の夕方（16時台）の便で利用者が多くなっている。

▼便別利用者数

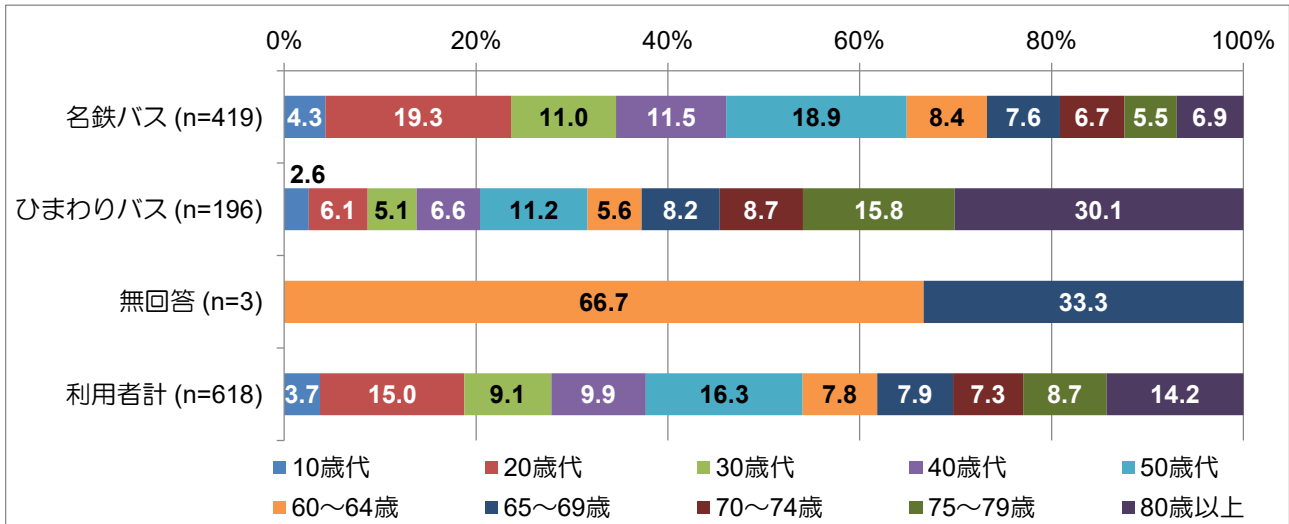


(3) バス利用者アンケート調査

①回答者の年齢

■ 「50 歳代」 の割合が約 16% で最も高い。次いで「20 歳代」 の割合が高い。
 □ 名鉄バスでは「20 歳代」 が約 19% で最も高い。次いで「50 歳代」 の割合が高い。
 □ ひまわりバスでは「80 歳以上」 の割合が約 30% で最も高い。次いで「70 歳代」 の割合が高い。

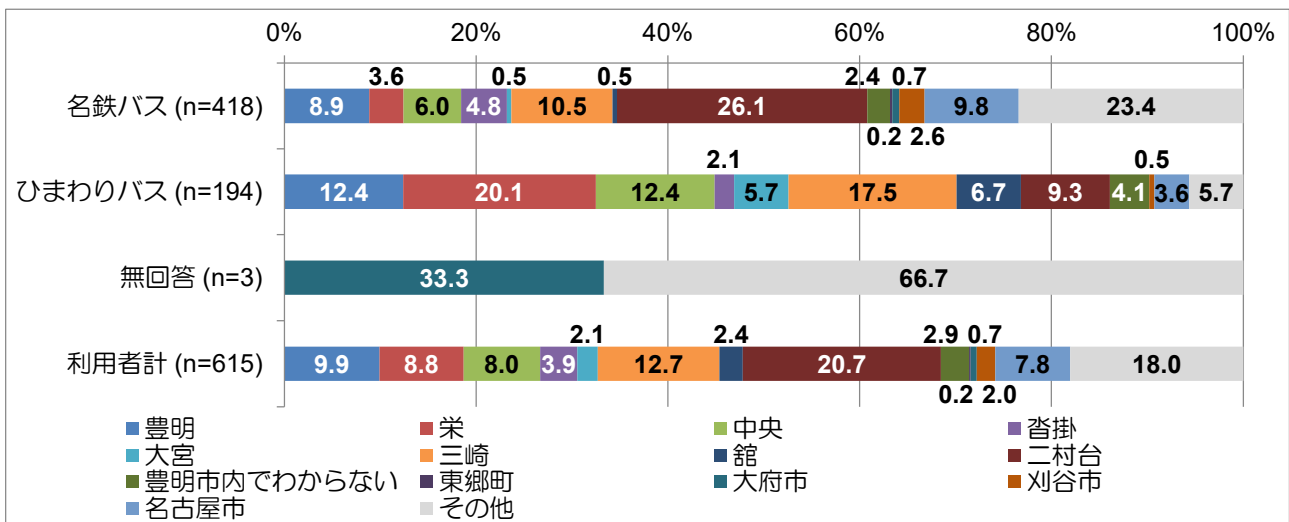
▼回答者の年齢



②回答者の居住地

■ 「二村台」 地区の割合が約 20% で最も高い。次いで「三崎」 地区の割合が高い。
 ■ 「その他」 を含めた豊明市外の利用者は約 29% となっている。
 □ ひまわりバスでは「栄」 地区の割合が約 20% で最も高い。次いで「三崎」 地区の割合が高い。

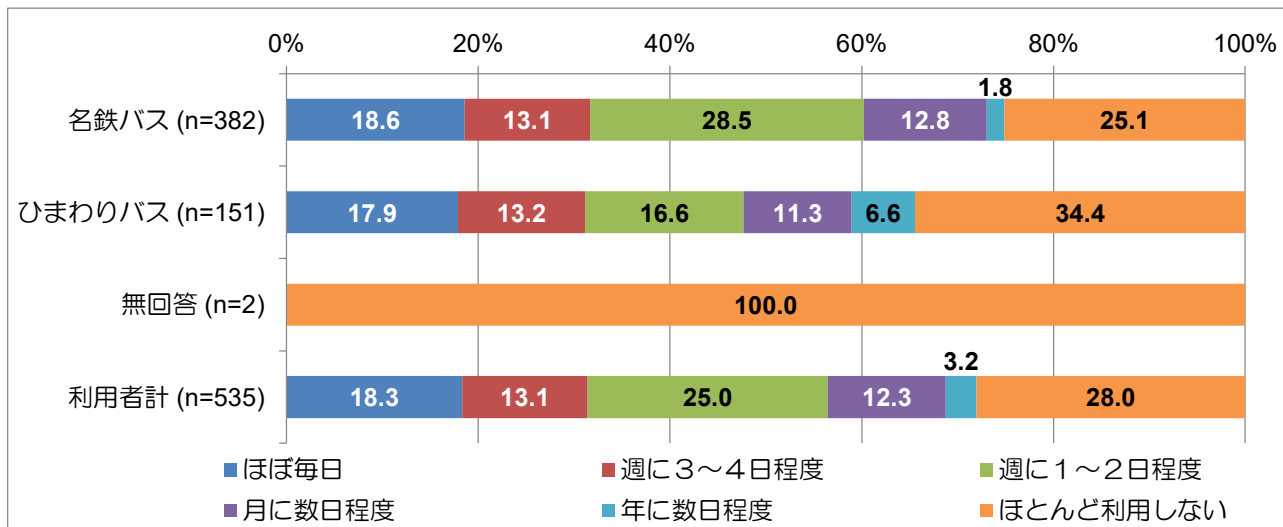
▼回答者の居住地



③自動車の利用頻度

□名鉄バスでは、週に1回以上利用する割合が約60%となっている。
 □ひまわりバスで「ほとんど利用しない」の割合が高く、約34%となっている。

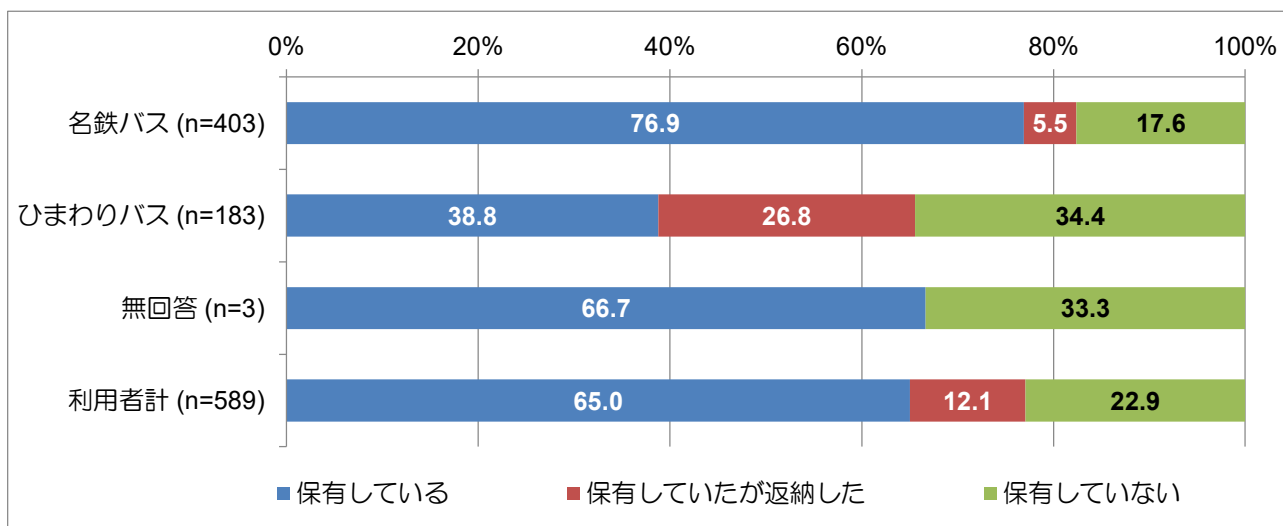
▼自動車の利用頻度



④運転免許の保有状況

■運転免許証の保有率は65%となっている。また、「保有していたが返納した」の割合は約12%、「保有していない」の割合は約23%となっている。
 □保有率は名鉄バスで割合が高く、約77%となっている。
 □ひまわりバスでは「保有していたが返納した」の割合が約27%と高くなっている。

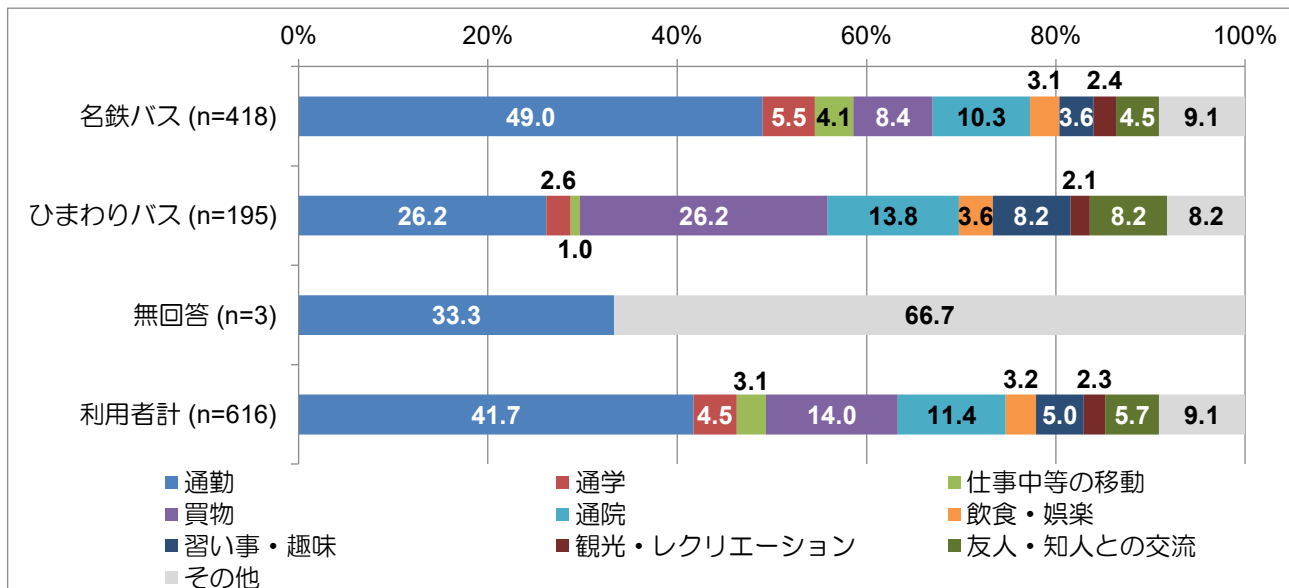
▼運転免許の保有状況



⑤利用した目的

■「通勤」の割合が約42%で最も高い。次いで「買物」「通院」の順となっている。
 □ひまわりバスでは、名鉄バスと比較して「通勤」の割合が低く、「買物」の割合が高くなっている。

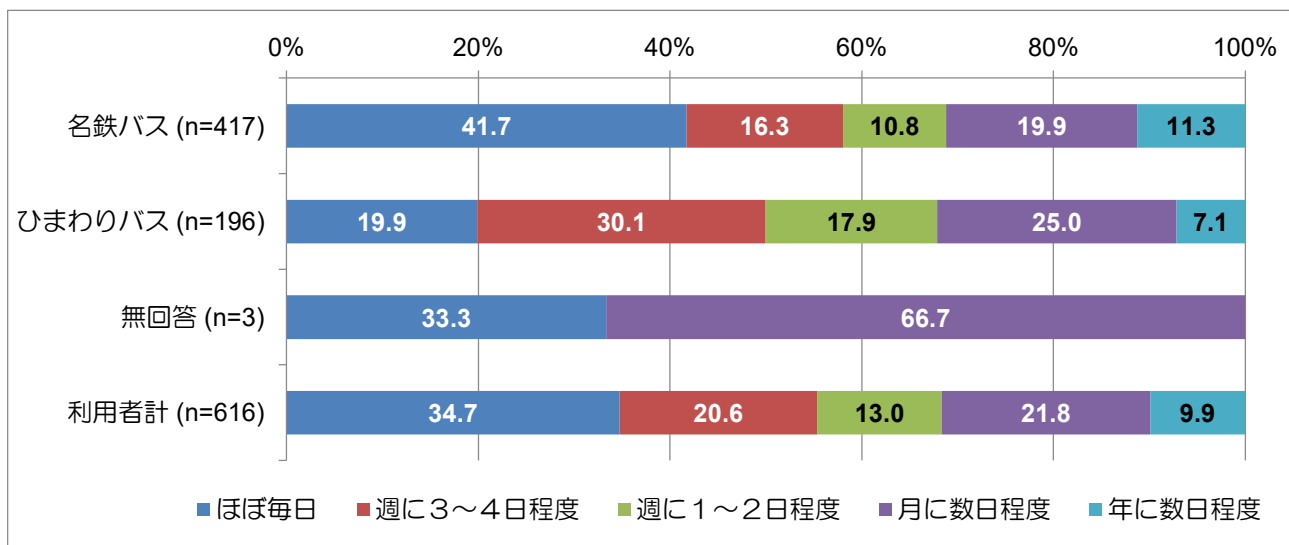
▼利用した目的



⑥利用する頻度

■「ほぼ毎日」の割合が約35%で最も高い。次いで「月に数日程度」の割合が高い。
 □ひまわりバスでは、名鉄バスと比較して「ほぼ毎日」の割合が低く、「週に3～4日程度」の割合が高くなっている。

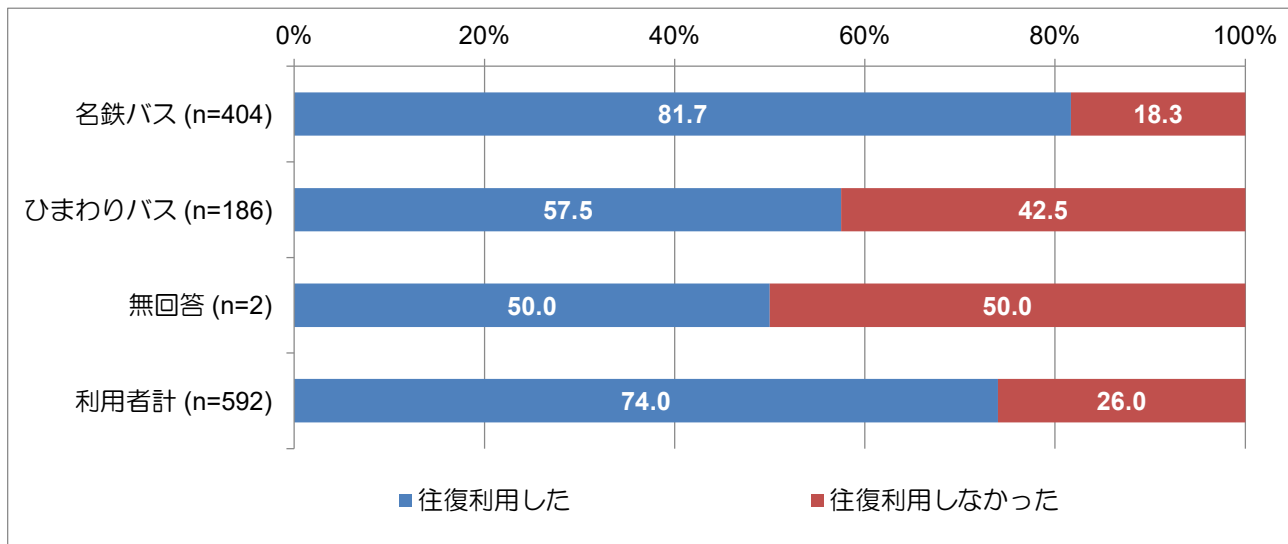
▼利用する頻度



⑦往復利用の有無と往復利用しなかった理由

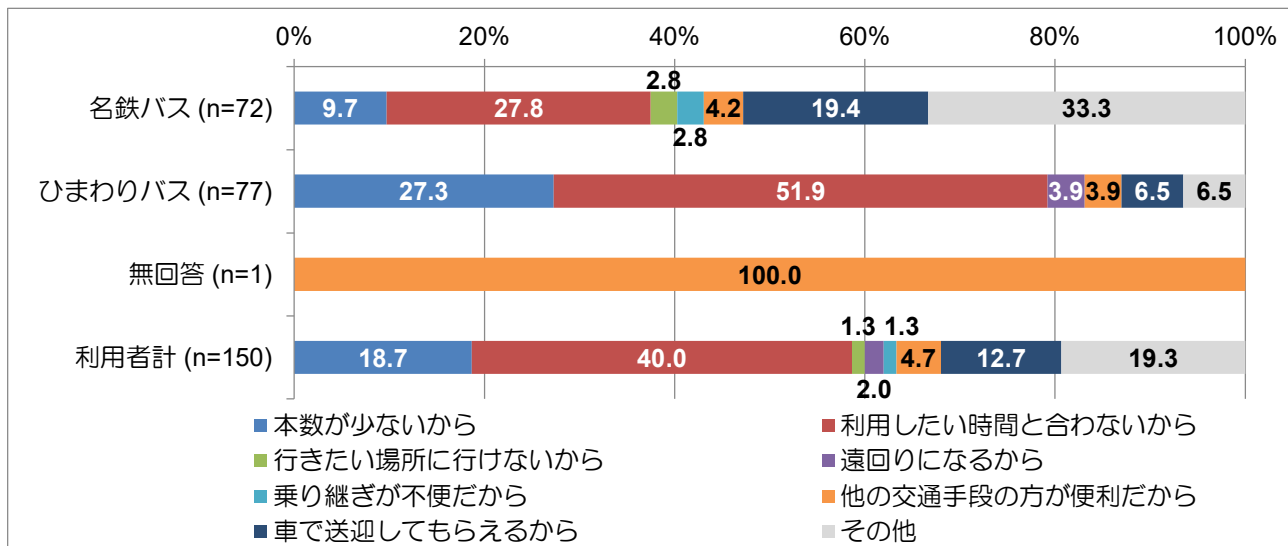
■往復利用した方は 74%となっている。
 □名鉄バスで「往復利用した」の割合が高く、ひまわりバスで低くなっている。

▼調査票を受け取ったバスを往復利用したか



■「利用したい時間と合わないから」の割合が 40%で最も高い。次いで「本数が少ないから」の割合が高い。
 □名鉄バスでは「車で送迎してもらえるから」の割合が高くなっており、ひまわりバスでは「本数が少ないから」の割合が高くなっている。

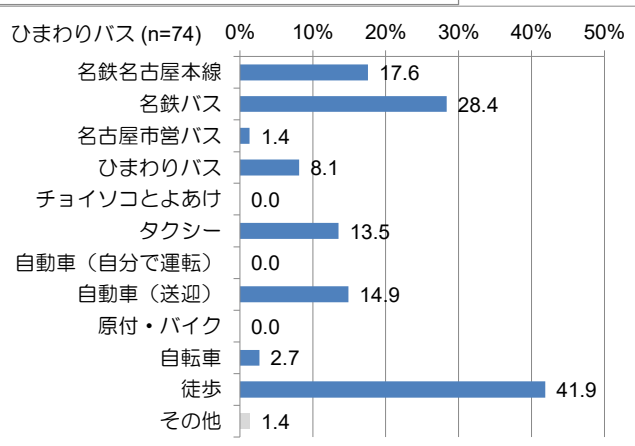
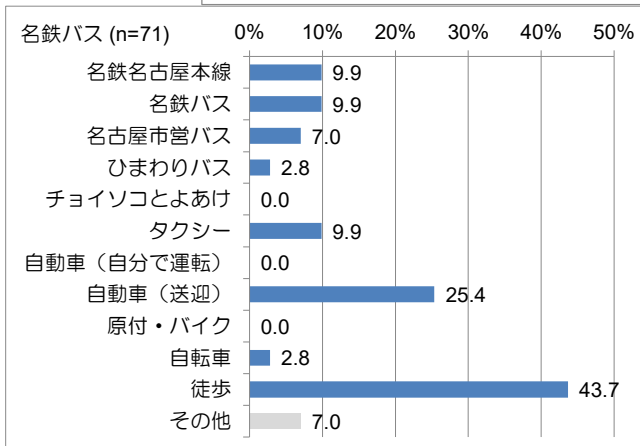
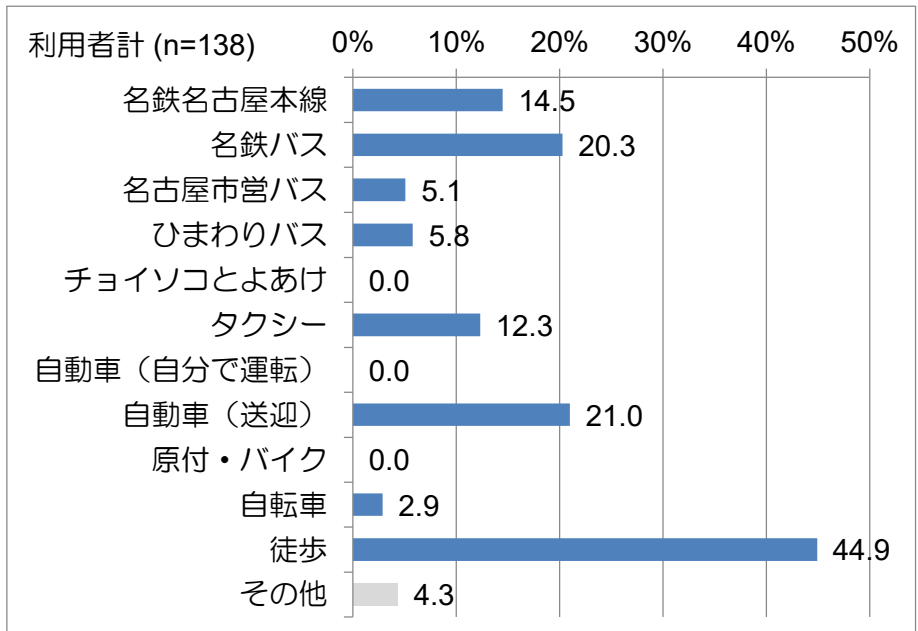
▼往復で利用しなかった理由（往復利用しなかった人のみ）



⑧往復利用しなかった際に利用した交通手段

■「徒歩」の割合が約45%で最も高い。次いで「自動車（送迎）」「名鉄バス」の順となっている。
 □名鉄バスでは「自動車（送迎）」の割合が高く、ひまわりバスでは「名鉄バス」の割合が高くなっている。

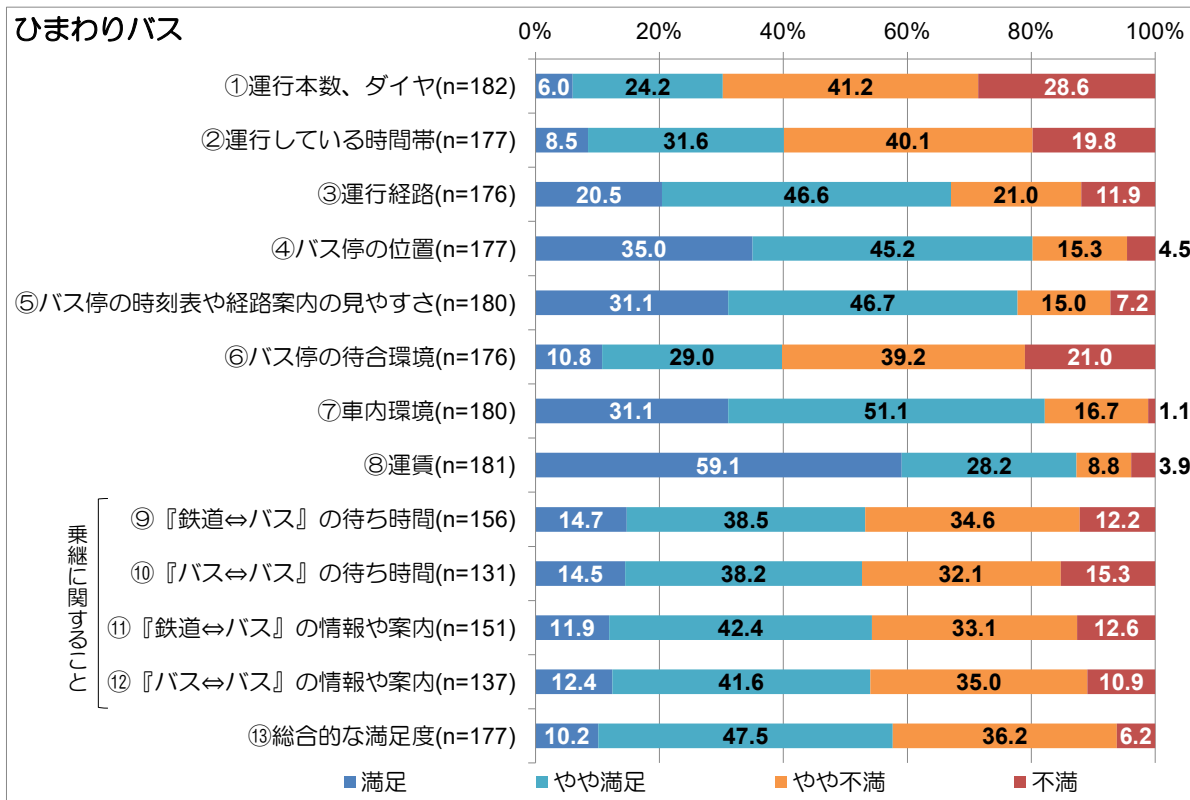
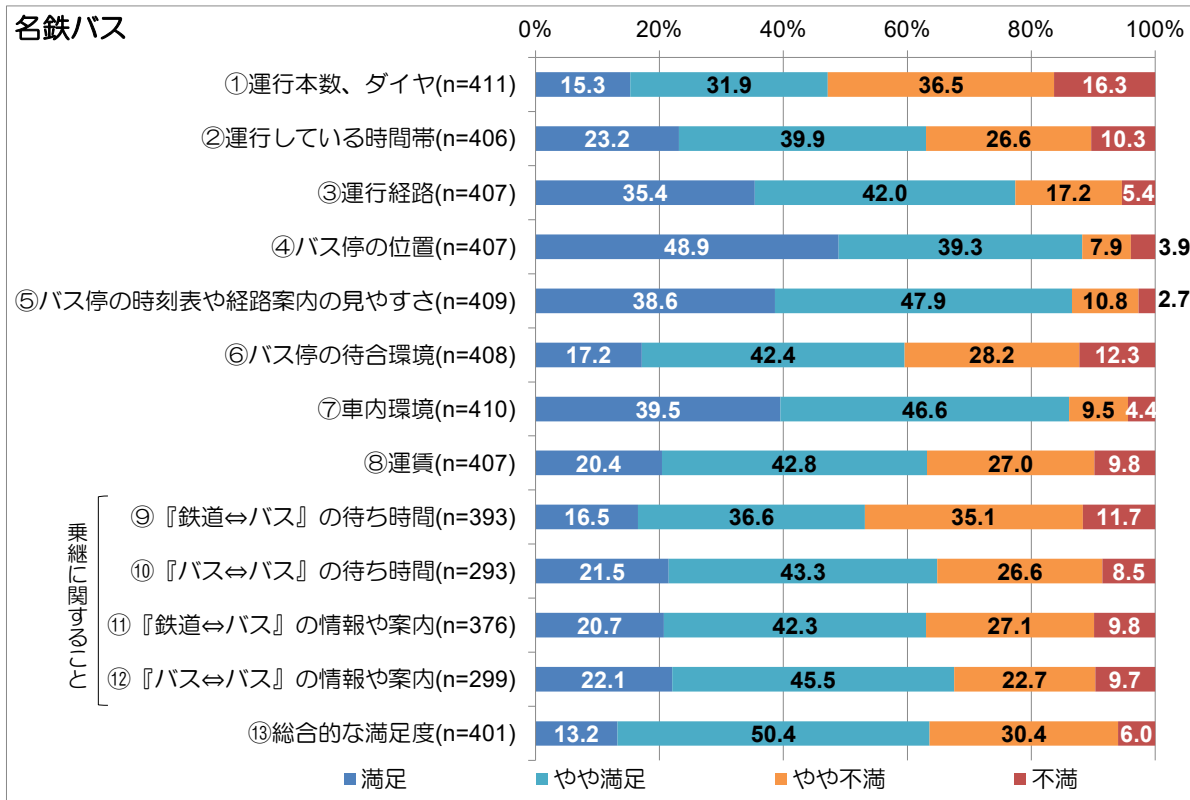
▼調査票を受け取ったバスを往復利用したか（往復利用しなかった人のみ・複数回答）



⑨バスサービス項目別満足度

□「⑬総合的な満足度」は、名鉄バスで約64%、ひまわりバスで約58%となっている。
 □ひまわりバスでは「①運行本数、ダイヤ」「②運行している時間帯」「⑥バス停の待合環境」において、不満割合が高くなっている。

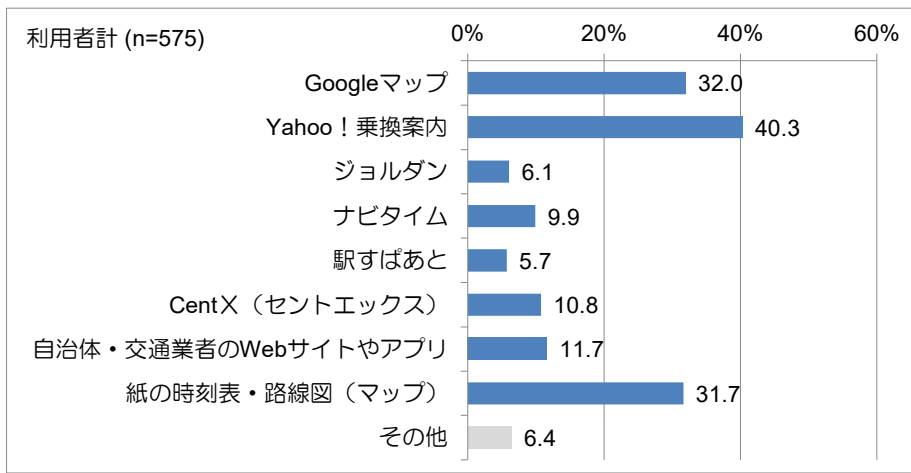
▼バスサービス項目別満足度



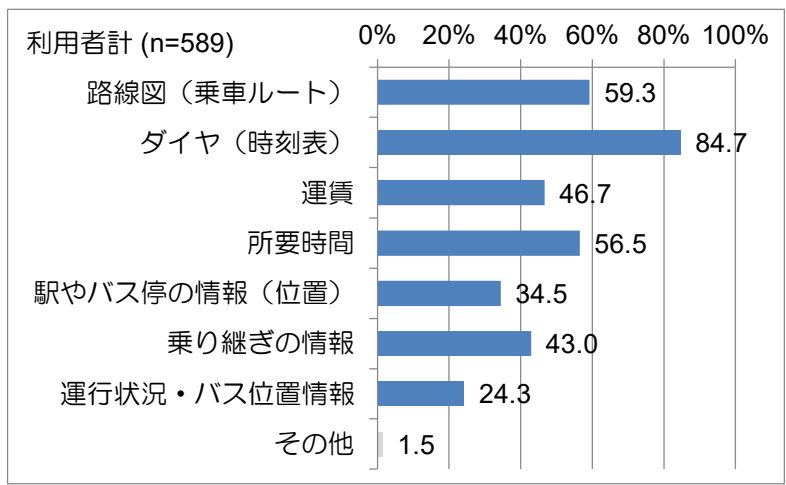
⑩公共交通に関することについての検索

- 検索に利用する手段は「Yahoo!乗換案内」の割合が約40%で最も高い。次いで「Googleマップ」「紙の時刻表・路線図」の順となっている。
- 検索する情報は「ダイヤ」の割合が約85%で最も高い。次いで「路線図(乗車ルート)」「所要時間」の順となっている。
- 便利な情報は「目的地周辺の施設案内」の割合が約70%で最も高い。

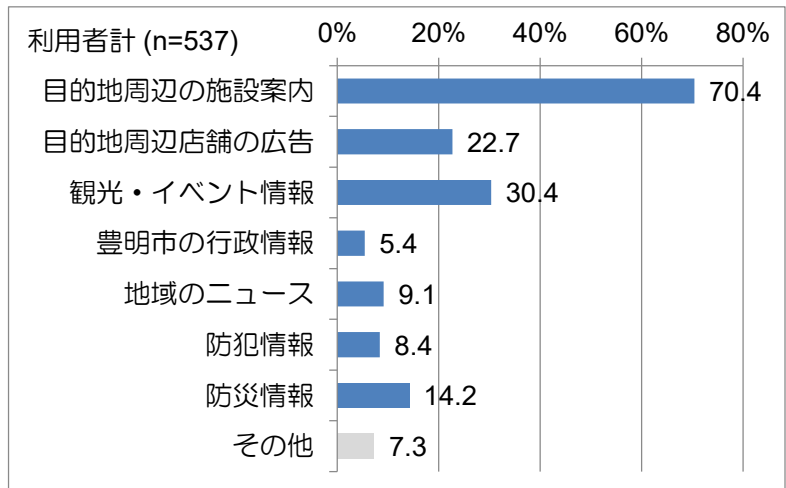
▼乗り継ぎ等を検索する際に利用する手段(※複数回答)



▼豊明市内に限らず、鉄道やバスを利用する際に検索する情報(※複数回答)



▼鉄道やバスの情報を調べるときに同時に得られると便利な情報(※複数回答)

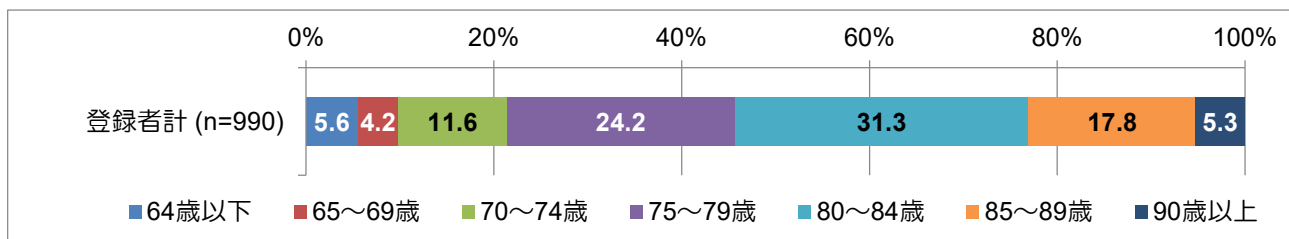


(4) チョイソコとよあけ登録者アンケート調査

①回答者の年齢

■「80～84歳」の割合が約31%で最も高い。次いで「75～79歳」の割合が高い。

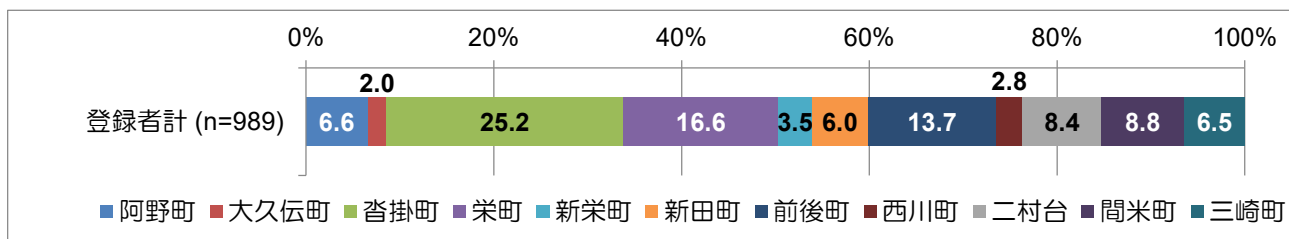
▼回答者の年齢



②回答者の居住地

■「沓掛町」の割合が約25%で最も高い。次いで「栄町」の割合が高い。

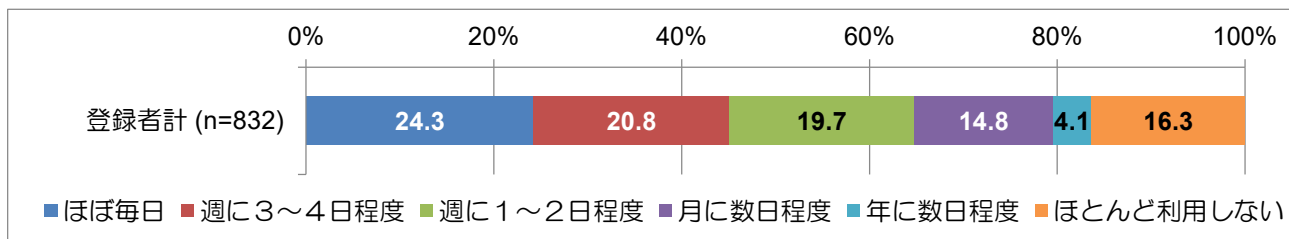
▼回答者の居住地



③自動車の利用頻度

■「ほぼ毎日」の割合が約24%で最も高い。次いで、「週に3～4日程度」の割合が高い。
 ■「ほとんど利用しない」の割合は約16%となっている。

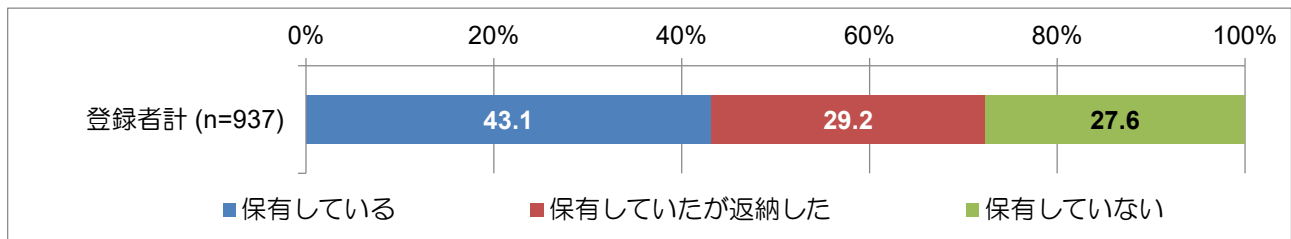
▼自動車の利用頻度（家族等の送迎も含む。）



④運転免許証の保有状況

■運転免許証の保有率は約 43%となっている。
 また「保有していたが返納した」の割合は約 29%、「保有していない」割合は 28%となっている。

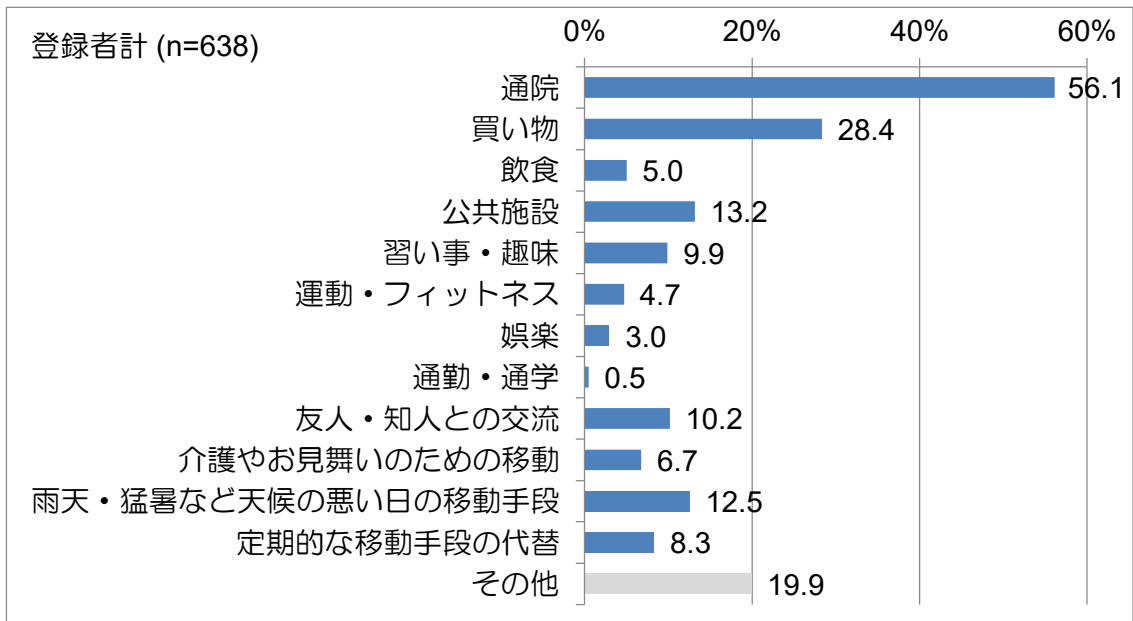
▼運転免許証の保有状況



⑤チョイソコの利用目的

■「通院」の割合が約 56%で最も高い。次いで「買物」「公共施設」の順となっている。

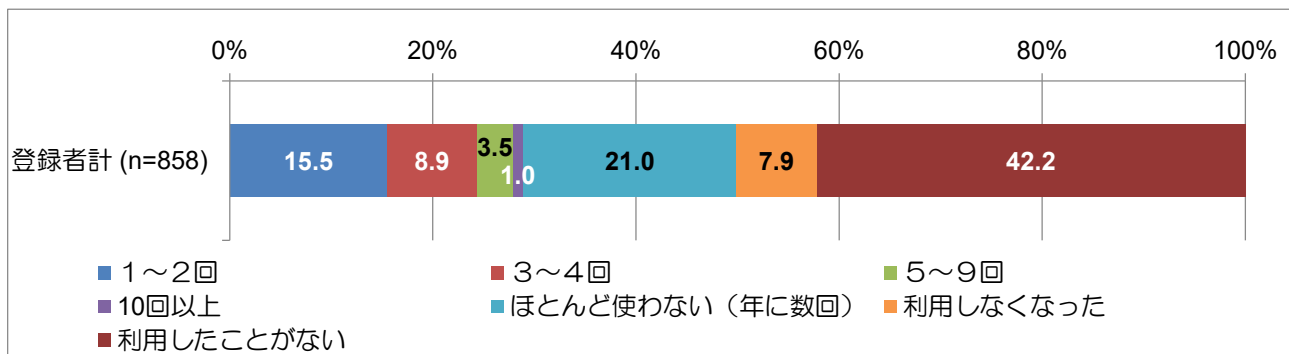
▼チョイソコの利用目的（複数回答）



⑥ 1ヶ月のチョイソコの利用状況

■ 「利用したことがない」の割合が約42%で最も高い。次いで「ほとんど使わない（年に数回）」
「1～2回」の順となっている。
■ 1ヶ月で利用している人の割合は約29%となっている。

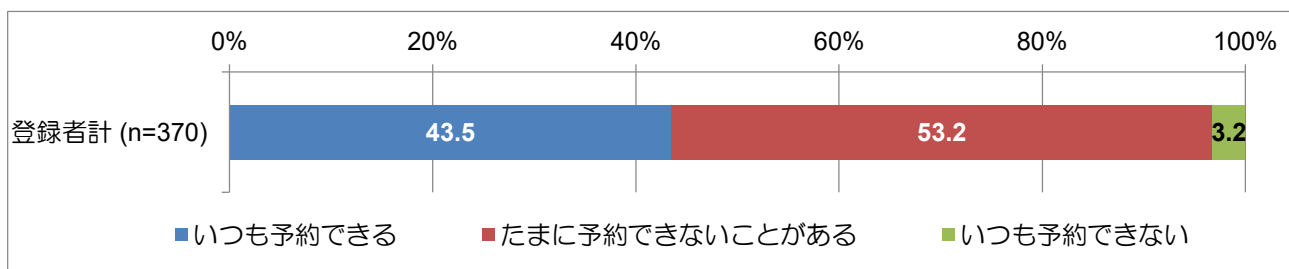
▼ 1ヶ月のチョイソコの利用状況



⑦ 普段予約がどのくらい取れるか

■ 「たまに予約できないことがある」の割合が53%で最も高い。
■ 「いつも予約できる」の割合は約44%となっている。

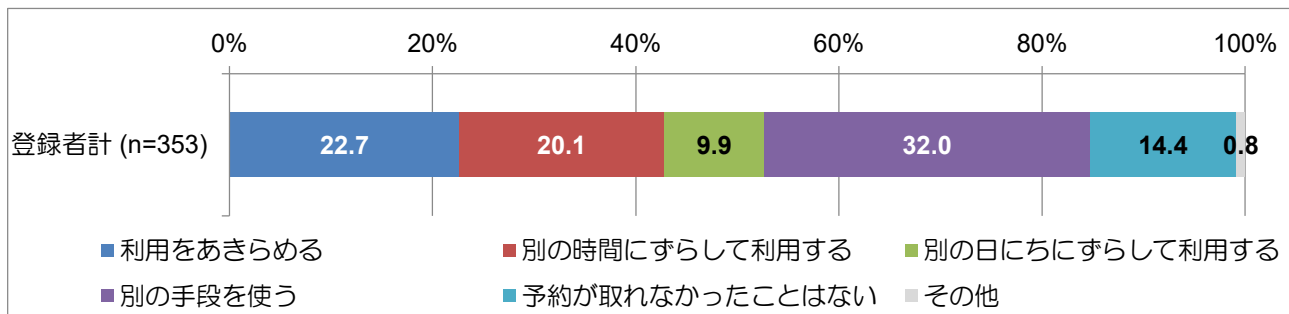
▼ 普段予約がどのくらい取れるか



⑧ 予約が取れなかった時の主な対応

■ 「別の手段を使う」の割合が32%で最も高い。次いで「利用をあきらめる」「別の時間にずらして利用する」の順となっている。
■ 「利用をあきらめる」の割合は約23%となっている。

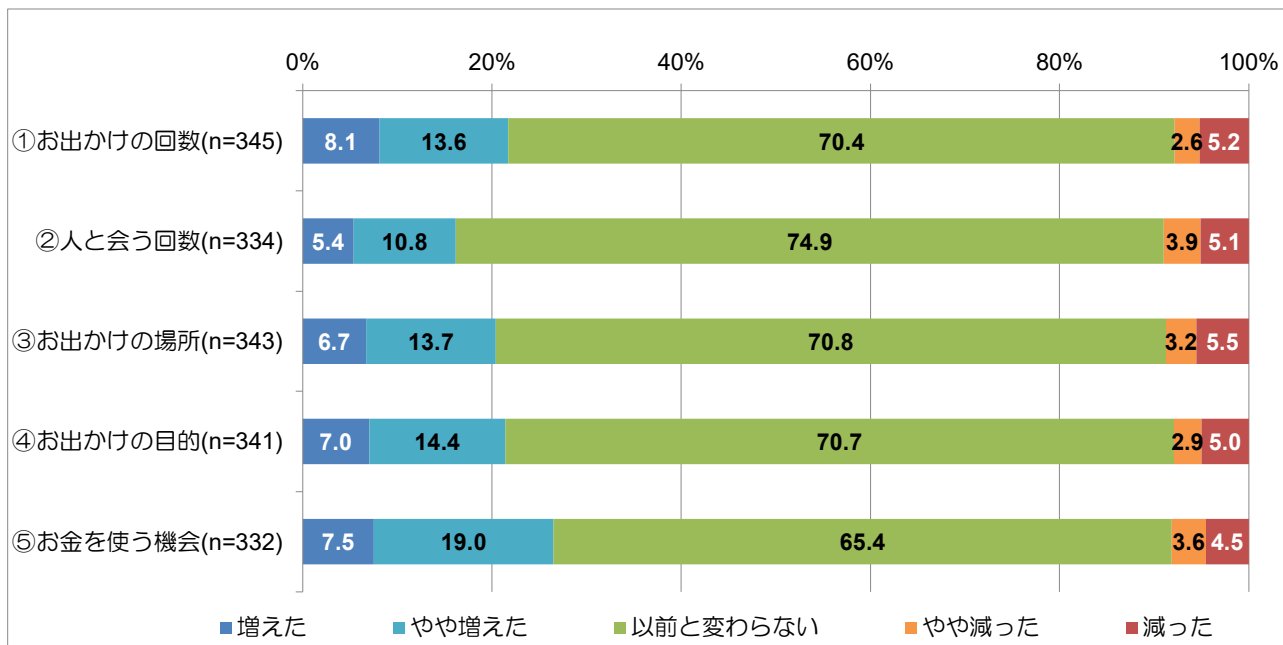
▼ 予約が取れなかった時の主な対応



⑨チョイソコを利用するようになってからの変化

■どの設問でも「増えた」・「やや増えた」の割合が、「減った」・「やや減った」の割合を上回っている。
 ■「⑤お金を使う機会」の増加割合が最も高くなっている。

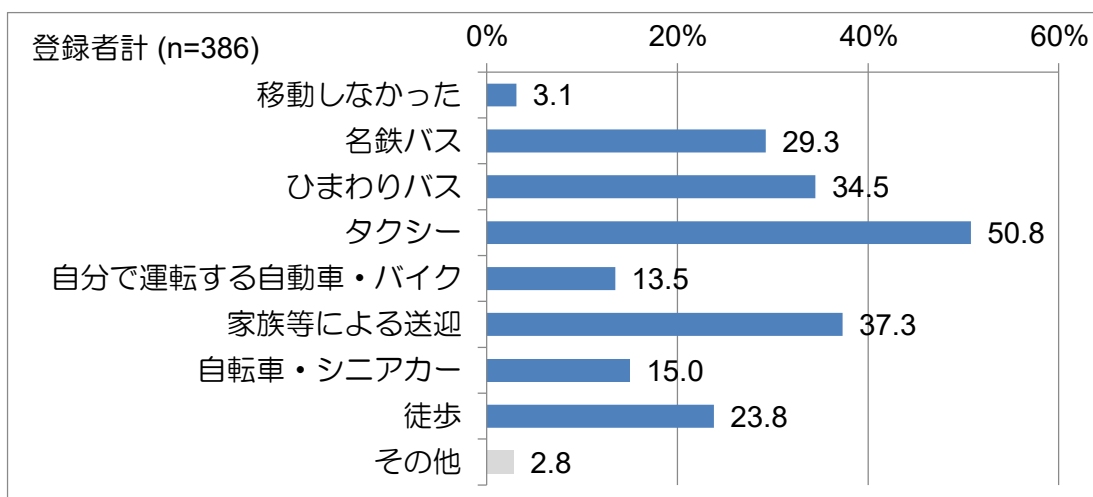
▼チョイソコを利用するようになってからの変化



⑩チョイソコがなかった場合の移動手段

■「タクシー」の割合が約51%で最も高い。次いで「家族による送迎」「ひまわりバス」の順となっている。
 ■「移動しなかった」の割合は約3%となっている。

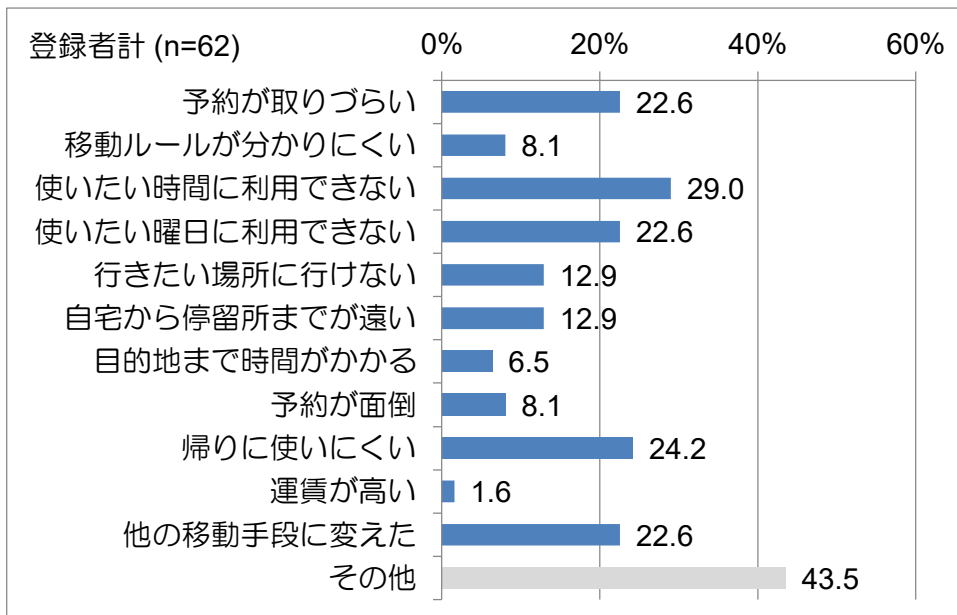
▼チョイソコがなかった場合の移動手段（複数回答）



⑪チョイソコを利用しなくなった理由

■「使いたい時間に利用できない」の割合が29%で最も高い。次いで「帰りに使いにくい」「予約が取りづらい」「使いたい曜日に利用できない」「他の移動手段に変えた」の順となっている。

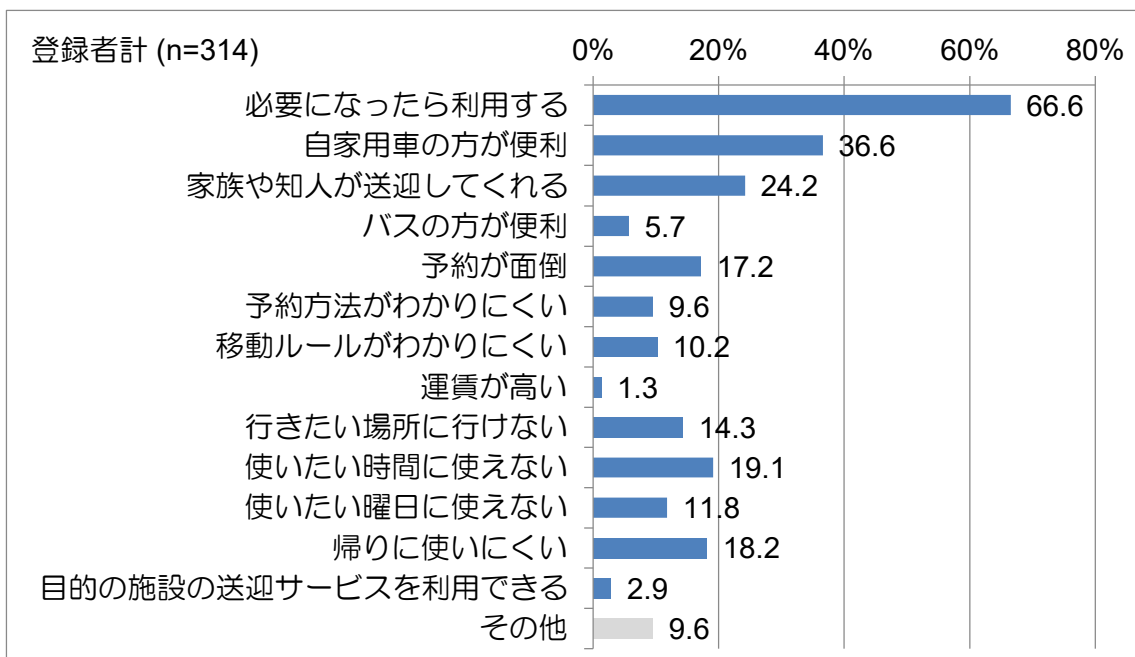
▼チョイソコを利用しなくなった理由（複数回答）



⑫チョイソコを利用していない理由

■「必要になったら利用する」の割合が約67%で最も高い。次いで「自家用車の方が便利」「家族や知人が送迎してくれる」の順となっている。

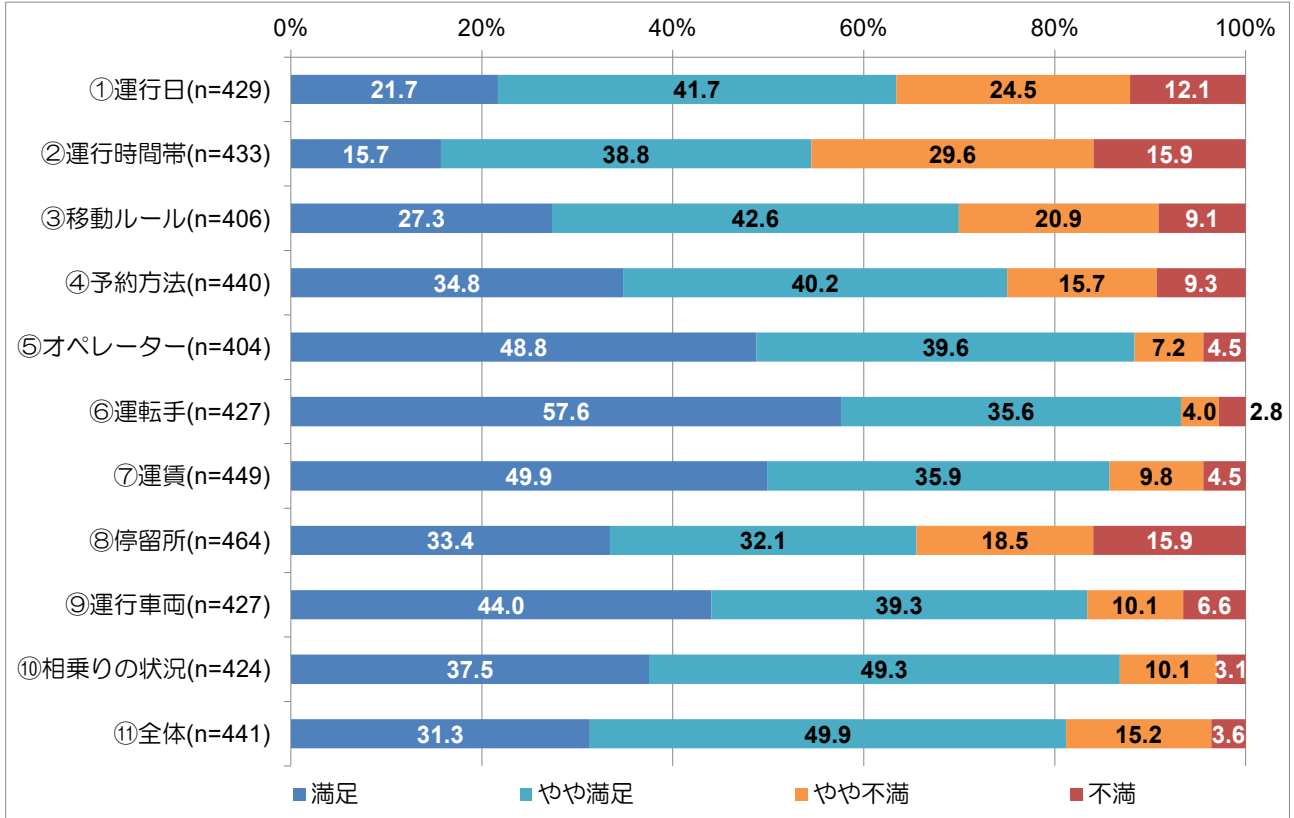
▼チョイソコを利用していない理由（複数回答）



⑬チョイソコの満足度

■全ての項目において満足度（「満足」＋「やや満足」）が不満割合（「不満」＋「やや不満」）を上回っている。
 ■最も満足度の高い項目は「⑥運転手」となっており、不満割合も最も低くなっている。
 ■最も満足度の低い項目は「②運行時間帯」となっており、不満割合も最も高くなっている。

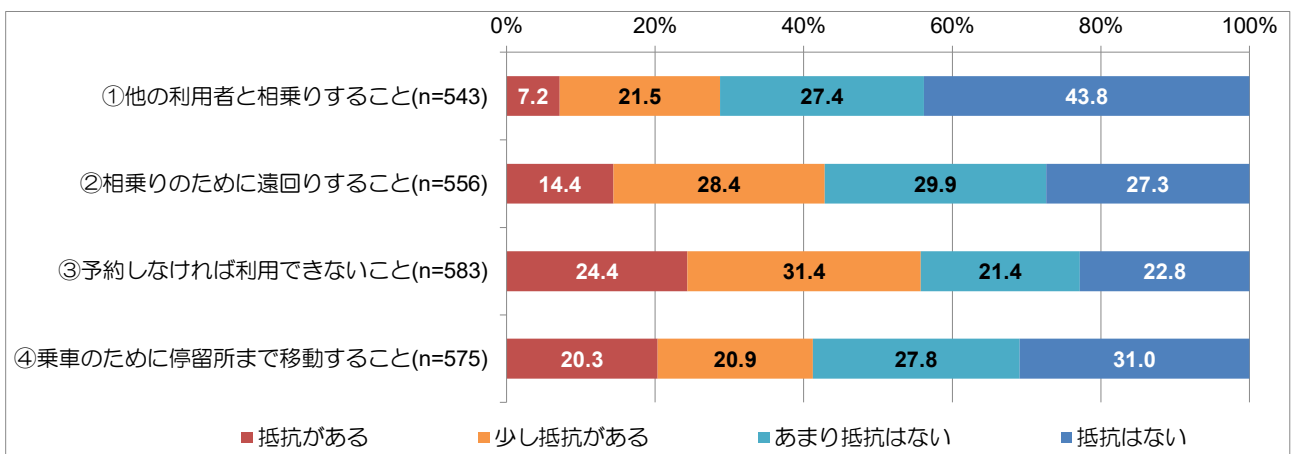
▼チョイソコの満足度



⑭チョイソコの利用に関する抵抗感について

■最も“抵抗を感じる”（「抵抗がある」＋「少し抵抗がある」）項目は「③予約しなければ利用できないこと」となっている。

▼チョイソコの利用に関する抵抗感

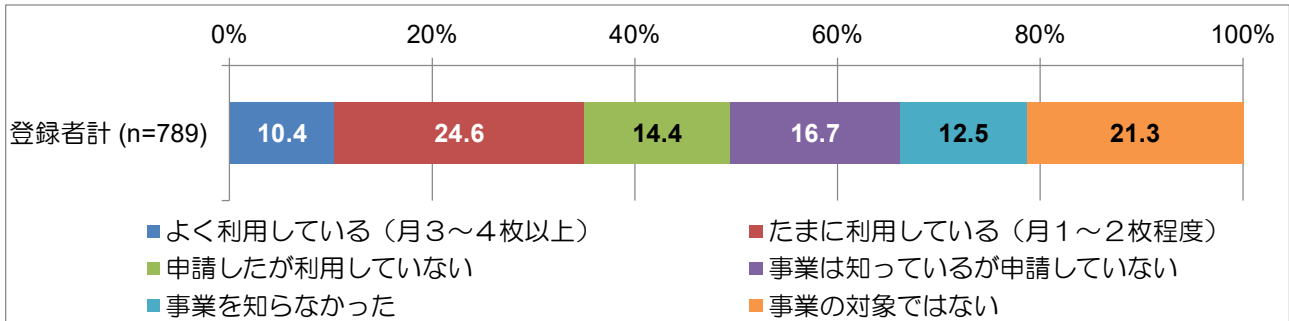


⑮高齢者タクシー運賃助成事業の利用状況

■「たまに利用している（月1～2枚程度）」の割合が約25%で最も高い。次いで「事業の対象ではない」「事業は知っているが申請していない」の順となっている。

■事業の利用者は全体の35%となっている。

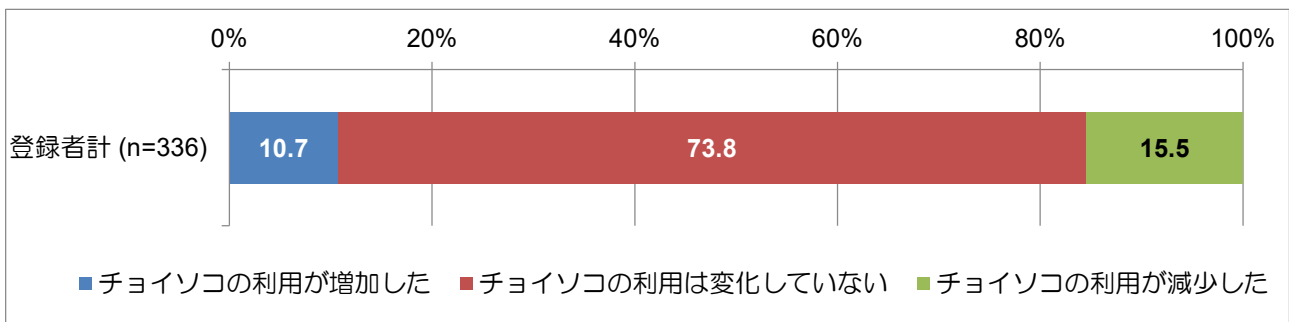
▼高齢者タクシー運賃助成事業の利用状況



⑯高齢者タクシー運賃助成事業開始後のチョイソコの利用状況

■「変化していない」の割合が約74%で最も高い。次いで「減少した」「増加した」の順となっている。

▼高齢者タクシー運賃助成事業開始後のチョイソコの利用状況



(5) 高齢者向けインタビュー調査

①よく行くお出かけ先

買い物	病院	飲食
<ul style="list-style-type: none"> ・スーパー (アオキスーパー、コープ、フェルナ、ドンキ、ビック、ピアゴ) ・ホームセンター 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院(藤田、クリニック) ・薬局(スギ薬局) 	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェ ・喫茶店、飲食店
公共施設	その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・市役所 ・体育館 ・図書館 ・文化会館 ・カラット 	<ul style="list-style-type: none"> ・友人宅 ・グランドゴルフ ・名古屋市内 ・中京競馬場 ・市民菜園 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェ ・健康麻雀 ・サロン ・ポールウォーキング

②普段の移動手段(複数回答)

徒歩	自転車	自分で運転する車	家族・知人の送迎	鉄道	名鉄バス	ひまわりバス	チョイソコとよあけ	タクシー	その他
15	4	13	4	1	1	4	1	1	1

その他(原付バイク)

③普段の移動に関する困りごと

ひまわりバス	チョイソコ	タクシー
<ul style="list-style-type: none"> ・こまめに回ってほしい ・本数をもっと多くしてほしい ・増やしてほしい ・本数が少ない ・台数が少ないから不便 ・南部から文化会館、カラット、市役所へ行くときに乗り換えが面倒 	<ul style="list-style-type: none"> ・予約が面倒 ・当日予約が取れない ・土日也使いたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・前後駅でもなかなか来ない ・回数券もっと ・病院に行くタクシーが多くなると
その他		
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の交通量が多い ・坂道が多く、歩けなくなってきたとき困りそう ・自動車の運転を止めたとき、行動範囲が少なくなり活動が少なることが心配 ・昔のように移動販売機があるといい ・徒歩は夏は大変 		

④どこに行きたいか

買い物	病院	施設	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・スーパー ・豊明・東郷グリーンセンターLove it TO² 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院(藤田) ・薬局 	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所 ・図書館 ・銀行 ・郵便局 	<ul style="list-style-type: none"> ・紅葉(足助町) ・昼神温泉(阿智村)

⑤今後求める交通サービスや、改善してほしいこと

ひまわりバス	チョイソコ	タクシー
<ul style="list-style-type: none"> ・大脇・内山にチョイソコ停留所できてよかった。 ・乗りつぎの待ち時間が不便 ・ひまわりバスこまめに市内まわる ・ひまわりバス 1.2h に 1 本に不便 ・時間がかっても大きく回って ・ひまわりバスふやす本数が少ない ・ひまわりバスの回数をふやす。停留所の増加 ・バス 2 時間に 1 本でのらない 	<ul style="list-style-type: none"> ・チョイソコ・不便、9:16 は使いにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー補助券もらったが、タクシーがつかまらない ・初乗りタクシーも利用制限なくしてほしい ・タクシーなかなか来ない
<p>その他</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりバス・チョイソコ停留所まで行くのが困難(自宅まで来てくれるとよい) ・移動スーパーが便利 ・タクシー券補助、ひまわりバスの券、人によって選べると良い(タクシー使わない人もいる) ・マナカ使ってるチャージ券、金額ちがっても選べるといい(名鉄 3,000) ・南部は不便 ・市役所への直行バス(前後でのりかえが難しくなると思うから) ・病院、豊明クリニック行には良いけど帰りは×。 ・自動車の運転を止めたあと。 <ol style="list-style-type: none"> 1、足助町に同乗で行きたい。 2、昼神温泉、同乗で行きたい。 ・大根公民館まで大変。大根には、公園まで行かないといけない ・地下鉄を豊明まで ・京都、白タク・ライドシェア、地域の人で、1日 100 円でやっている ・栄から市役所などに 1 本で行ける様 <p>市内をわざりにしたコースを作って欲しい。 1 号線で分断されないようなルート</p>		

インタビューの様子(グリーンケアカフェ・つくし)



大脇地区におけるチョイソコ実証運行について

1 地域の現況

人口・高齢化率	年少人口 0～14歳	生産年齢人口 15歳～64歳	高齢者人口 65歳以上	総人口	高齢化率
大脇区	386	1,743	780	2,909	26.81%
市全体	8,261	41,840	17,824	67,925	26.24%

- 人口密集地は総じて道が狭隘であり、ひまわりバスなどの大型車両は適していない。
- 過去にひまわりバスを運行していたが、①利用者不足②すれ違いが危ない・詰まって渋滞を引き起こす③複数回の接触事故発生 等により、平成31年4月の路線改正で撤退した経緯がある。

2 経緯

時期	内容
2022年3月	地域公共交通計画策定。本地区を地域路線検討区域に指定
2023年5月9日	大脇区長から地域路線導入の要望書を市に提出
2023年7月下旬	大脇地区の公共交通を考える会開催チラシを地区内に配布
2023年8月26日	大脇地区の公共交通を考える会を開催
2023年10月27日	第1回大脇地区地域路線検討部会
2023年11月21日	大脇地区民生委員・老人クラブ交流会（公共交通について）
2024年9月16日	大脇地区の公共交通を考える会（第2回）を開催
2024年10月21日	第2回大脇地区地域路線検討部会
2024年11月25日	令和6年度第2回豊明市地域公共交通会議
2024年12月21日	大脇区チョイソコ利用説明会
2025年1月20日	大脇地区実証運行開始

3 豊明市公共交通計画での本地区の位置付け



表 公共交通の機能分類

機能分類	機能	役割	該当路線
都市間幹線	本市と名古屋方面、豊田方面の市街を結ぶ都市間移動	通勤、通学、買物、観光等の広域的な移動ニーズに対応	名古屋鉄道 名古屋日本線
広域幹線	本市と名古屋、東郷町、口津市等を結ぶ、市域を越えた移動	通勤、通学、買物、通院等の都市間の移動ニーズに対応	名鉄バス 名古屋市営バス（東郷町）
都市間幹線	本市と大府市、東郷町を結ぶ、市域を越えた移動	通勤、通学、買物、通院等の都市間の移動ニーズに対応	名鉄バス 東郷町
市内幹線	市内の都市拠点をはじめとした市内拠点間の移動	通勤、通学、買物、通院等の移動ニーズに対応	名鉄バス
拠点連絡路線	市内の各拠点間及び主要施設間の移動	買物、通院等の地区間の移動ニーズに対応	ひまわりバス
地域路線	地域と各拠点、主要施設を結び、市内幹線や拠点連絡路線と接続	高齢者の買物、通院等の原のラストワンマイル等、各地域のニーズに応じた移動手段により、地区内の様々な移動ニーズに対応	チョイソコおよびあけ（新たなモビリティ）タクシー
個別	上記公共交通ではカバーできない移動	個別の移動ニーズに対応	タクシー 福祉タクシー

出典）豊明市地域公共交通計画 豊明市の公共交通ネットワークイメージ

4 大脇地区での実証について

大脇地区エリアの指定については、チョイソコ事業（一般乗合事業）の許可内での運行になるが、指定区域も大きく、かつ、車両の増車は現時点では行わない形での導入になるため、以下のとおり実証期間を定めて検証してから正式にエリア指定を行うものとする。

実証目的	・本地区の移動支援にチョイソコ（オンデマンド型）が合うかを図ること ・本地区のエリア指定による事業全体への影響を図ること
実証期間	令和7年1月20日～令和7年12月26日
停留所の設置	住宅地停留所（22ヶ所） 参考 沓掛エリア:30ヶ所 仙人塚・間米エリア:31ヶ所 住宅地停留所は、設置場所・停留所名称・地権者調整・設置作業等、行政の協力のもと、大脇地区で主体的に検討していただいた。
検証項目	・会員登録者数 ・利用実績（大脇地区、停留所ごと利用者数など） ・利用実績（全体） ・予約不成立件数及び割合の変化 ・地区アンケート等による定性的な評価 など ※大脇エリア指定による利用状況変化に応じて、3台目の導入（大脇エリア担当車両）を検討していく

➡営業区域、運賃等に影響がなく、事業計画の変更手続き等が発生しないため、協議案件に該当はしないものの、大脇地区の交通不便エリア指定は、チョイソコとよあけ事業上の大きな変更点であるため、地域公共交通会議に諮ったうえで実証を実施。

5 利用実績及び会員登録数

(1) 利用件数と会員推移

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用件数	926	838	898	884	893	857	933	891	771	722	740	810
会員推移	2,134	2,143	2,159	2,164	2,176	2,203	2,223	2,241	2,254	2,265	2,286	2,293
2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用件数	887	772	764	760	696	754	976	819	764	663	646	703
会員推移	2,306	2,334	2,347	2,364	2,371	2,373	2,392	2,403	2,414	2,516	2,533	2,555
2025年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用件数	761	736	828	894	683	849	968					
会員推移	2,566	2,589	2,596	2,607	2,609	2,630	2,629					

(2)大脇地区の利用件数と会員推移

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用件数										2	7	3
会員推移										59	61	61
2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用件数	0	2	6	6	5	4	4	28	14	11	25	18
会員推移	62	62	64	64	64	64	68	69	69	160	169	177
2025年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用件数	34	25	45	48	49	48	57					
会員推移	180	182	183	183	185	185	185					

(3)停留所ごとの利用者数 2025年1月～2025年10月(上位7停留所)

住宅地停留所名	乗車利用数	降車利用数	乗降合計数	
156_大脇西6班喫茶店		75	49	124
160_曹源寺霊園西		33	10	43
154_第5分団詰所前		25	12	37
158_新左山北		23	14	37
151_坂畑公園南		31	3	34
163_大脇コミュニティセンター		25	0	25
168_大脇東資源ゴミ置き場北		15	10	25

(4)予約不成立

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
不成立数	38	55	39	35	25	29	59	52	70	29	41	37
割合(%)	3.94	6.16	4.16	3.81	2.72	3.27	5.95	5.51	8.32	3.86	5.25	4.37
2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
不成立数	30	34	46	37	25	40	49	46	48	不明	不明	28
割合(%)	3.27	4.22	5.68	4.64	3.47	5.04	4.78	5.32	5.91			3.83
2025年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
不成立数	34	29	48	36	31	59	43					
割合(%)	4.28	3.79	5.48	3.87	4.34	6.50	4.25					

実証前 2024年3月～2024年10月 平均値 4.43%

実証後 2025年3月～2025年10月 平均値 4.54%

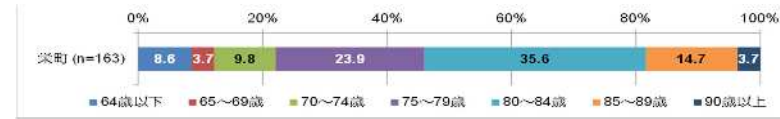
《利用状況評価》

- ・2025年10月末時点の会員登録者は185名。これは全体の会員数の約7%にあたる。
- ・2025年1月～10月までの利用実績は、合計が360件で月あたり36件。徐々に登録者及び利用件数が増加している傾向が見られた。
- ・利用者全体では、2024年1月～10月の利用件数が7,881件、2025年1月～10月の利用件数が7,731件で対比98.1%であり、全体の利用としては大きな変化は見られなかった。
- ・予約不成立割合は、停留所設置前平均4.43%から停留所設置後平均4.54%であり、全体の利用としては大きな変化は見られなかった。

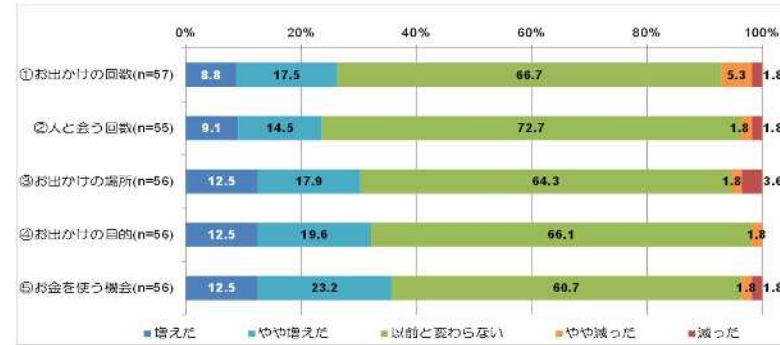
6 地域の意見

(1)チョイソコ登録者アンケート調査(抜粋)

①年齢



②チョイソコを利用するようになってからの変化



(2)大脇区意見交換会(2025年11月28日実施)参加者23名 アンケート結果

○チョイソコはこの地域の助けになると思うか

・思う 20名 ・やや思う 3名 ・やや思わない・思わない・分からない 0名

○チョイソコの継続運行を希望しますか

・希望する 22名 ・どちらでもよい 1名 ・希望しない・分からない 0名

○自由意見

- ・時間帯が利用しにくい、土日や16時以降も運行してほしい(8件)
- ・行事があるときは土日も臨時で運行してほしい(2件)
- ・こどもは100円にしてほしい(1件)
- ・足の不自由な人にはもっときめ細かな地点での停留所を設置してほしい(1件)
- ・利用時間等のお知らせをもっとしてほしい(1件)
- ・具体的な利用は免許返納時に考えたい(1件)
- ・雨の日に予約しようとしたら取れなかった。雨の日だけでも台数を増やせないか(1件)

7 今後の方針について

○正式に大脇地区をチョイソコのエリア指定を行う。

会員数や利用実績を見ても、当該地区に利用が偏っている状況になく、また、利用過多の状況でもない。予約不成立の割合はほぼ変化はなく、利用予約できる場合の方が圧倒的に高い状況は変わらないため、2026年1月以降も継続設置したとしても、既存の運行や他の交通事業に大きな支障はないと考えられる。

地域の意見でも継続設置を希望しているため、気軽に外出でき、買い物や通院に困らない環境を整えるため、大脇地区を交通不便エリアに指定し、チョイソコの停留所を継続設置する。

ひまわりバス新デザイン市民投票 集計結果

令和7年度に更新するひまわりバス車両の新デザインについて、市内小中学生を対象に募集したところ、695点の応募がありました。

そのうち、市職員選考により24点が入選となり、市幹部選考により以下の3点が優秀作品として市民投票の対象デザインとなりました。最終選考として、豊明秋まつりで実施した市民投票の結果は、以下のとおりです。

票 総 数 660 票

日時・場所 令和7年11月2日 豊明秋まつり会場 バスロータリー（バス展示ブース）

内 訳 以下のとおり

栄中学校 3年生 熊谷 さくら さん (255 票)	
最優秀 作品賞	
栄小学校5年生 松浦 結花 さん(237 票) 豊明中学校1年生 植田 植田 朋輝 さん(168 票)	
優秀 作品賞	

※新デザインバスの出発式は、令和8年3月下旬を予定しています。

ひまわりバス「栄小学校東」緑ルート of 停留所移設について

1 内 容

路線名	ひまわりバス 南部循環コース緑ルート
内 容	バス停移設(栄小学校東バス停留所(緑ルート)を西に約 50m移設
移設理由	現停留所前の住宅建築に伴い、バス停における待合環境を改善するため
変更日	令和 7 年 12 月中旬(予定)
協議状況	<p>令和 7 年 11 月 愛知運輸支局 事前相談</p> <p>確認済</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通管理者(愛知警察署) 道路管理者(豊明市) 地先地権者(豊明市) 地先隣接アパート等管理会社 <p>※バス停移設に伴う、路線基本情報の変更なし。</p>

2 現場位置図及び写真

位置図

【旧】
新栄町2丁目 147 番地先

【新】
新栄町2丁目 145 番 2 地先

移設先写真

①

②

3 路線基本情報

路線名	ひまわりバス 南部循環緑ルート
運行経路概要	前後駅～桶狭間古戦場伝説地～前後駅(循環)
運行距離	9.1 km
停留所数	22 か所
運行日	年末年始(12月29日～1月3日)を除く毎日
運行本数	7本
所要時間	約40分
運賃	1乗車100円 乗り継ぎ券 中央循環コースと南部循環コースの乗り継ぎの際、前後駅バス停で発行 特例運賃(無料) ・市内在住の中学生以下 ・市内在住で障がい者手帳等をお持ちの方と付き添いの方1名
運行事業者	名鉄バス株式会社知立営業所